

目次

- ★ 発生動向総覧 P 1～4
- ★ 感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況 P 5
- ★ 指定届出機関からの特記事項欄コメント P 5～6
- ★ 全数把握感染症集計表 P 7
- ★ 定点把握感染症集計表 P 8～12
- ★ 定点把握感染症推移グラフ P 13～17
- ★ 定点把握感染症集計表（月報） P 18～21
- ★ 定点把握感染症推移グラフ（月報） P 22～23
- ★ インフルエンザの流行が続いています！ P 24
- ★ 今シーズンの季節性インフルエンザの状況（2022.36週～2023.22週） P 25～27
- ★ 新型コロナウイルス感染症の状況 P 28～



発生動向総覧

◆全数届出の感染症

- 1 類感染症 報告なし
- 2 類感染症 結核（中部（1）、浜松市（3））
- 3 類感染症 報告なし
- 4 類感染症 レジオネラ症（中部（1））
- 5 類感染症 急性脳炎（浜松市（1））、水痘（入院例）（東部（1）、西部（1））、梅毒（東部（1）、西部（2）、浜松市（2））、バンコマイシン耐性腸球菌感染症（西部（1））

◆定点把握の対象となる5類感染症（週報対象のもの）

環境衛生科学研究所
感染症情報センター

感染症発生動向調査

警報・注意報・流行期入りの目安

警報・注意報のねらいは、感染症発生動向調査における定点把握感染症のうち、公衆衛生上その流行現象の早期把握が必要な疾病について、流行の原因究明や拡大阻止対策などを講ずるための資料として、地域における流行拡大を抑制するため、迅速に注意喚起することを目的としています。

ほとんどの感染症では、時間の経過とともに流行が地域的に拡大あるいは移動していくことから、流行拡大を早期に探知するためには、小区域での流行状況を広域的に監視することが重要と考えられます。

「警報レベル」は、大きな流行が発生または継続しつつあると疑われることを示します。

「注意報レベル」は、流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性が高いこと、流行の発生後であれば流行が継続していると疑われることを指します。

「警報レベル」は、1週間の定点当たり報告数がある基準値（開始基準値）以上で開始し、別の基準値（終息基準値）未満で終息します。

「注意報レベル」は1週間の定点当たり報告数がある基準値以上の場合です。警報・注意報レベルの基準値は、これまでの感染症発生動向調査データから、下記の通り定められています。

インフルエンザには、「流行期入りの目安」として、「1」があります。

1週間の定点医療機関あたり報告数が1を上回ると、インフルエンザが流行期に入ったと考えられます。ただし、あくまでも目安であり、1週のデータのみで判断するのではなく継続的に推移を確認して判断することが重要です。

疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30.0	10.0	10.0
咽頭結膜熱	3.0	1.0	—
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8.0	4.0	—
感染性胃腸炎	20.0	12.0	—
水痘	2.0	1.0	1.0
手足口病	5.0	2.0	—
伝染性紅斑	2.0	1.0	—
ヘルパンギーナ	6.0	2.0	—
流行性耳下腺炎	6.0	2.0	3.0

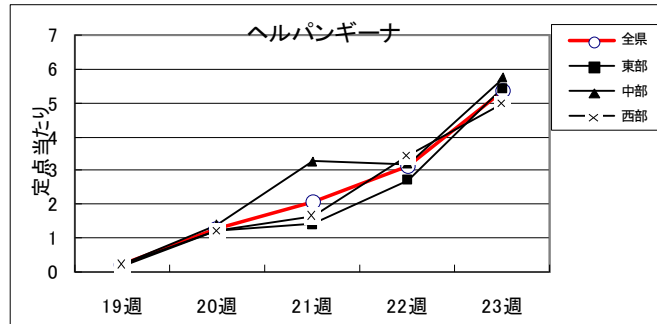
【今週のコメント】

ヘルパンギーナが流行の警報レベルの開始基準値の6に近づいてきました。
 全県で罹患数478、定点当たり5.37の患者発生があり、前週の3.10から増加しました。

令和5年第23週(6/5～6/11)の動向

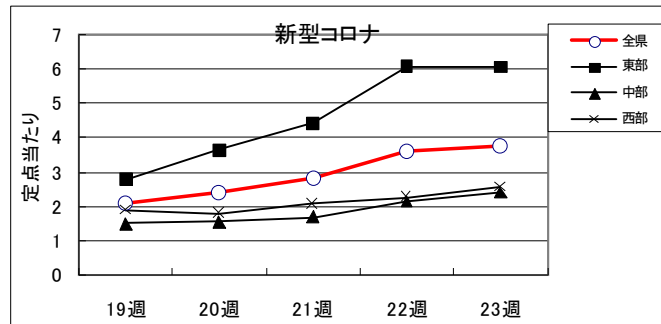
【ヘルパンギーナ】

全県で罹患数478、定点当たり5.37の患者発生があり、前週の3.10から増加した。定点当たり東部地区で5.44、中部地区で5.74、西部地区で4.97の患者が発生した。
 なお、流行の警報レベルの開始基準値は6です。



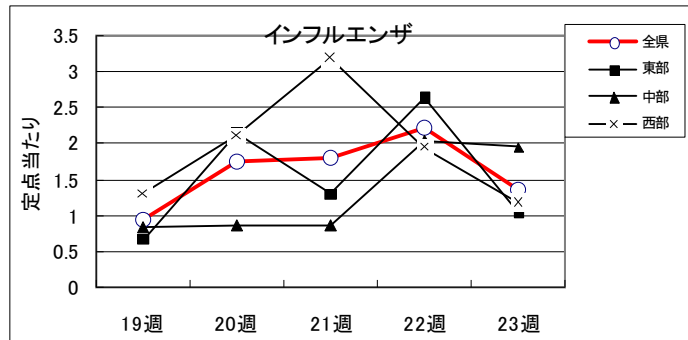
【新型コロナ】

全県で罹患数524、定点当たり3.77の患者発生があり、前週の3.60からやや増加した。定点当たりは、東部地区で6.06、中部地区で2.40、西部地区で2.55の発生があった。



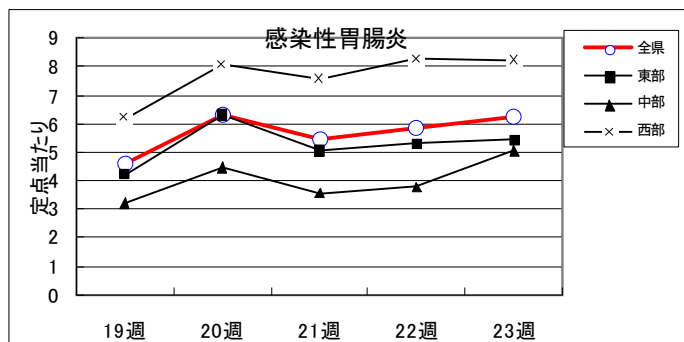
【インフルエンザ】

全県で罹患数189、定点当たり1.36の患者発生があり、前週の2.22から減少した。定点当たりは、東部地区で1.04中部地区で1.95、西部地区で1.17の発生があった。



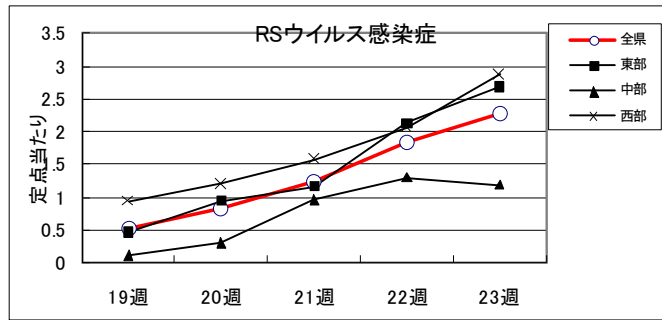
【感染性胃腸炎】

全県で罹患数558、定点当たり6.27の患者発生があり、前週の5.84から増加した。定点当たり東部地区で5.44、中部地区で5.07、西部地区で8.23の患者が発生した。



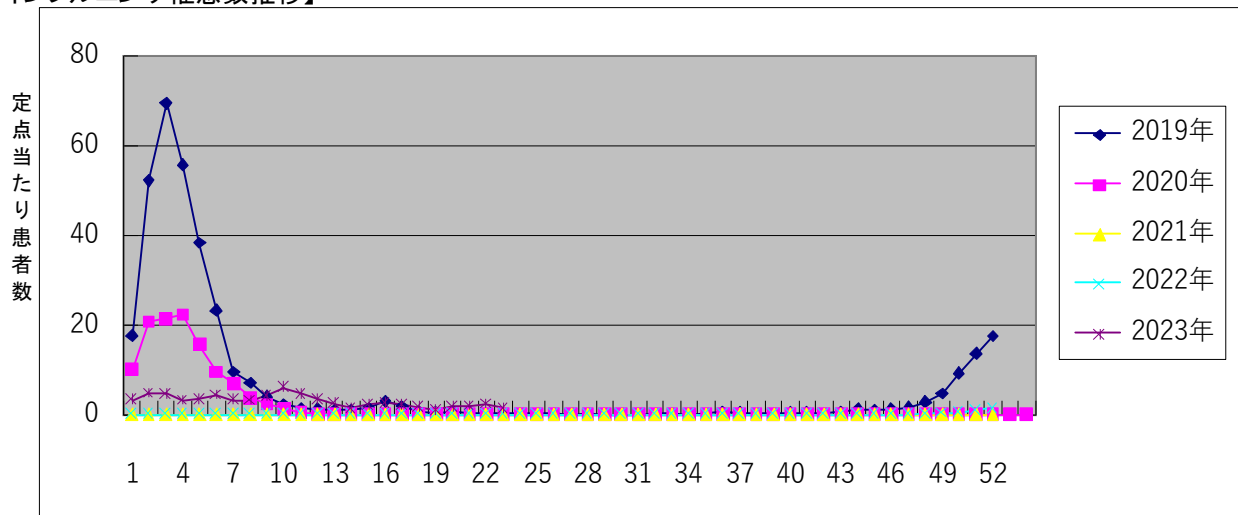
【RSウイルス感染症】

全県で罹患数204、定点当たり2.29の患者発生があり、前週の1.85から増加した。定点当たり東部地区で2.69、中部地区で1.19、西部地区で2.87の患者が発生した。



- ・風疹、麻疹とも患者発生なし。
- ・全国のインフルエンザの発生は1.36で前週の1.52から減少した。警報及び注意報レベルの保健所を有する都道府県は3から3で変更なしであった。
- ・静岡県において第22週に定点当たり患者報告数の多かった疾病は、順に1)感染性胃腸炎(6.27)、2)ヘルペンギーナ (5.37)、3)、新型コロナ (3.77)、4)RSウイルス感染症 (2.29)、5)インフルエンザ(1.36)であった。

【インフルエンザ罹患数推移】

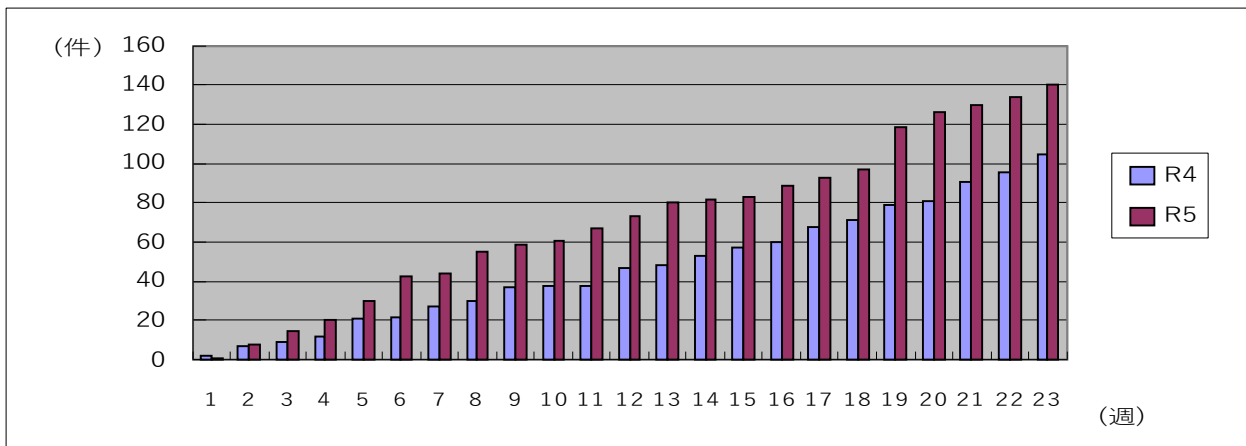


【県内衛生研究所におけるインフルエンザウイルス検出状況(2022/2023シーズン)】
(令和4年36週～令和5年22週)

		検体搬入数	A/H1 pdm09	A/H3	B/山形 系統	B/Victoria 系統
R4 36～52週	静岡県	9		5		
	静岡市	3		1		
	浜松市	0				
R5 1～5週	静岡県	14		11		
	静岡市	13		13		
	浜松市	1		1		
R5 6～10週	静岡県	21		12		
	静岡市	10		8		
	浜松市	0				
11週	静岡県	4		3		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
12週	静岡県	4		4		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
13週	静岡県	3		1		
	静岡市	2		2		
	浜松市	0				
14週	静岡県	4		4		
	静岡市	1		1		
	浜松市	0				
15週	静岡県	0		0		
	静岡市	2		1		1
	浜松市	0				
16週～18週	静岡県	0				
	静岡市	0				
	浜松市	0				
19週	静岡県	2	1	1		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
20週	静岡県	2		2		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
21週	静岡県	1		1		
	静岡市	0				
	浜松市	0				
22週	静岡県	0				
	静岡市	0				
	浜松市	0				
23週	静岡県	2				
	静岡市	1				
	浜松市	0				

【梅毒の発生状況(静岡県・累計)】

・23週は前年同期比1.33倍の増加となった。



◆感染症発生動向警報システムによる保健所の警報状況

警 報 咽頭結膜熱（御殿場）、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎（御殿場）
ヘルパンギーナ（東部、富士、静岡市、西部）
注意報 なし



指定届出機関からの特記事項欄コメント

感染症第23週（令和5年6月5日～令和5年6月11日）

かわづクリニック（河津町）「帯状疱疹 1名（66歳男性）」

高野医院（伊東市）「新型コロナ 8名」

むらかみ小児科クリニック（伊東市）「インフルエンザA型 5名」

光ヶ丘小児科（三島市）「新型コロナ 7名、RS 13名、咽頭アデノ 3名」

よぎ小児科医院（沼津市）「新型コロナ 2名、インフルエンザA型 2名」

函南平出クリニック（函南町）「RS 7名、A群レンサ球菌 2名、流行性耳下腺炎 2名、アデノ 2名、突発性発疹 1名、ヘルパンギーナ 11名、ヒトメタニューモ 7名」

たうち小児科医院（御殿場市）「インフルエンザA型 6名」

富士市立中央病院（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 7名」

小川小児科内科医院（富士市）「インフルエンザA型 6名、新型コロナ 26名」

三浦医院（富士宮市）「インフルエンザ 6名、新型コロナ 9名」

木村内科医院（富士市）「新型コロナ 1名」

共立蒲原総合病院・内科（富士市）「新型コロナ 9名」

幸治小児科医院（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 4名」

田子浦クリニック（富士市）「インフルエンザ 1名、新型コロナ 12名」

瀬尾小児科内科医院（富士市）「インフルエンザ 2名、新型コロナ 3名」

聖隷富士病院（富士市）「新型コロナ 4名」

富士宮市立病院（富士宮市）「新型コロナ 4名」

谷口小児科医院（富士宮市）「インフルエンザ 4名、新型コロナ 8名」

南陽堂内科循環器科クリニック（富士宮市）「新型コロナ 2名」

平野医院（富士市）「新型コロナ 2名」

永松医院（富士宮市）「新型コロナ 1名」

ふたばクリニック（磐田市）「インフルエンザA型 4名」

伊藤医院（湖西市）「新型コロナ 1名（家族内感染）」

クリニックパパ（浜松市）「ヒトメタニューモ 1名、咽頭アデノ 5名、インフルエンザA型 1名」

天童こども医院（浜松市）「咽頭アデノ 4名」

小児科竹内医院（浜松市）「インフルエンザA型 1名」

金指こどもクリニック（浜松市）「咽頭アデノ 1名」

おおば小児科 (浜松市) 「インフルエンザA型 7名」

くまがいくリニック (浜松市) 「インフルエンザA型 1名」

※特記事項欄コメントによるインフルエンザウイルス型別状況 (R4-R5 シーズン累計)

区分	報告数	割合
インフルエンザA型	3,966名	98%
インフルエンザB型	95名	2%

静岡県感染症週報はホームページでも御覧いただけます。

(「静岡県 感染症情報センター」で検索)

<https://www.pref.shizuoka.jp/kenkofukushi/shippeikansensho/kansensho/1003065/index.html>

疾患名	区分	静岡県							全国				
		18週	19週	20週	21週	22週	今週	年累計	20週	21週	22週	今週	年累計
エボラ出血熱													
クリミア・コンゴ出血熱													
痘そう													
南米出血熱													
ペスト													
マールブルグ病													
ラッサ熱													
急性灰白髄炎													
結核		1	6	4	5	4	4	134	217	235	251	225	5,840
ジフテリア													
重症急性呼吸器症候群(SARS)													
中東呼吸器症候群(MERS)													
鳥インフルエンザH5N1													
鳥インフルエンザH7N9													
コレラ													1
細菌性赤痢									2		2		12
腸管出血性大腸菌感染症								7	68	88	77	79	738
腸チフス										1		1	18
パラチフス													5
E型肝炎								1	16	4	7	13	268
ウエストナイル熱(ウエストナイル脳炎を含む)													
A型肝炎										1	1		26
エキノコックス症													5
エムボックス								1	14	6	6	6	173
糞熱													
オウム病									1	1	1		5
オムスク出血熱													
回帰熱									2	1			4
キャサスル森林病													
Q熱													
狂犬病													
コクシジオイデス症													1
ジカウイルス感染症													
重症熱性血小板減少症候群						1		2	5	5	10	1	66
腎症候性出血熱													
西部ウマ脳炎													
ダニ媒介脳炎													
炭疽													
チクングニア熱													1
つつが虫病									3	4	2	5	94
デング熱										4		2	31
東部ウマ脳炎													
鳥インフルエンザ													
ニバウイルス感染症													
日本紅斑熱									10	13	10	10	106
日本脳炎													
ハンタウイルス肺症候群													
Bウイルス病													
鼻疽													
ブルセラ症													
ベネズエラウマ脳炎													
ヘンドラウイルス感染症													
発しんチフス													
ポツリヌス症													
マラリア												1	7
野兔病													
ライム病									1	1			2
リッサウイルス感染症													
リフトバレー熱													
類鼻疽													
レジオネラ症			1	1	1	1	1	17	35	40	52	47	679
レプトスピラ症										1			4
ロッキー山紅斑熱													
アメーバ赤痢					1			9	5	9	5	5	217
ウイルス性肝炎(A型肝炎及びE型肝炎を除く)									2	1	2	3	113
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			2			2		12	16	23	24	15	765
急性弛緩性麻痺									2		2		23
急性脳炎(ウエストナイル脳炎、日本脳炎等を除く)							1	11	16	7	8	8	218
クリプトスポリジウム症													2
クロイツフェルト・ヤコブ病			1					2	4	2	3	1	67
劇症型溶血性レンサ球菌感染症								8	11	9	12	11	363
後天性免疫不全症候群		1						4	13	15	15	12	418
ジアルジア症								2	2	1			24
侵襲性インフルエンザ菌感染症								4	6	12	14	8	192
侵襲性髄膜炎菌感染症												3	8
侵襲性肺炎球菌感染症		1	1	1				17	41	48	21	22	859
水痘(入院例に限る)								2	5	7	7	10	171
先天性風しん症候群					1			2	3	7	7		
梅毒		3	7	4	3	4	5	140	182	201	234	200	6,426
播種性クリプトコックス症						1		2	1	5	1	2	84
破傷風								1	1	1	1	4	25
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症													
バンコマイシン耐性腸球菌感染症							1	6	1	2	1	1	64
百日咳								3	22	23	20	17	336
風しん													6
麻疹									5	1	3		16
薬剤耐性アシネトバクター感染症													7
新型コロナウイルス感染症													

※医療機関から届出の追加や取り下げがあった場合、増減することがあります。

※令和5年5月26日から「サル痘」は「エムボックス」に、「カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症」は「カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症」に名称が変わりました。

定点把握感染症集計表(届出数)

2023年 23 週

	静岡県							全国				
	18週	19週	20週	21週	22週	今週	計	20週	21週	22週	今週	計
RSウイルス感染症	62	46	74	110	165	204	661	4,888	6,101	6,659	8,285	25,933
咽頭結膜熱	24	30	39	52	38	54	237	1,414	2,014	1,928	2,161	7,517
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	36	41	55	66	65	82	345	4,197	4,665	4,970	5,237	19,069
感染性胃腸炎	246	408	565	485	520	558	2,782	20,488	20,306	20,757	19,696	81,247
水痘	5	15	5	10	6	6	47	327	405	357	397	1,486
手足口病	13	26	35	38	54	78	244	791	1,133	1,494	2,057	5,475
伝染性紅斑		4	3	1	2	4	14	45	41	54	56	196
突発性発しん	25	37	20	38	31	33	184	1,025	1,094	1,065	984	4,168
ヘルパンギーナ	13	16	111	182	276	478	1,076	2,276	4,154	5,863	9,390	21,683
流行性耳下腺炎	6	1	5	2	4	5	23	184	215	227	287	913
インフルエンザ	217	129	242	251	309	189	1,337	9,275	7,975	7,483	6,688	31,421
新型コロナウイルス感染症		290	331	389	500	524	2,034	17,489	17,864	22,432	25,163	82,948
急性出血性結膜炎								10	12	8	15	45
流行性角結膜炎		4	7	4	3	4	22	249	217	226	238	930
細菌性髄膜炎				1			1	4	11	6	10	25
無菌性髄膜炎						1	3	9	14	8	14	44
マイコプラズマ肺炎						2	2	38	33	50	28	149
クラミジア肺炎(オウム病は除く)								1			1	2
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)								4	5	3	3	15

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

定点把握感染症集計表(定点当り)

2023年 23 週

	静岡県						全国			
	第18週	第19週	第20週	第21週	第22週	今週	第20週	第21週	第22週	今週
RSウイルス感染症	0.70	0.52	0.83	1.24	1.85	2.29	1.56	1.95	2.12	2.64
咽頭結膜熱	0.27	0.34	0.44	0.58	0.43	0.61	0.45	0.64	0.61	0.69
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.40	0.46	0.62	0.74	0.73	0.92	1.34	1.49	1.58	1.67
感染性胃腸炎	2.76	4.58	6.35	5.45	5.84	6.27	6.54	6.48	6.61	6.29
水痘	0.06	0.17	0.06	0.11	0.07	0.07	0.10	0.13	0.11	0.13
手足口病	0.15	0.29	0.39	0.43	0.61	0.88	0.25	0.36	0.48	0.66
伝染性紅斑		0.04	0.00	0.01	0.02	0.04	0.01	0.01	0.02	0.02
突発性発しん	0.28	0.42	0.22	0.43	0.35	0.37	0.33	0.35	0.34	0.31
ヘルパンギーナ	0.15	0.18	1.25	2.04	3.10	5.37	0.73	1.33	1.87	3.00
流行性耳下腺炎	0.07	0.01	0.06	0.02	0.04	0.06	0.06	0.07	0.07	0.09
インフルエンザ	1.56	0.93	1.74	1.81	2.22	1.36	1.89	1.62	1.52	1.36
新型コロナウイルス感染症		2.09	2.38	2.80	3.60	3.77	3.56	3.63	4.55	5.11
急性出血性結膜炎							0.01	0.02	0.01	0.02
流行性角結膜炎		0.18	0.32	0.18	0.14	0.18	0.36	0.31	0.33	0.34
細菌性髄膜炎				0.10			0.01	0.02	0.01	0.02
無菌性髄膜炎						0.10	0.02	0.03	0.02	0.03
マイコプラズマ肺炎						0.20	0.08	0.07	0.10	0.06
クラミジア肺炎(オウム病は除く)							0.00			0.00
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)							0.01	0.01	0.01	0.01

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	細菌性髄膜炎、無菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、クラミジア肺炎(オウム病は除く)、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

※小児科定点と内科定点はインフルエンザ・新型コロナウイルス感染症定点を兼ねている。

※新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類感染症(定点把握対象)に追加されました。

感染症 23 週

保健所名	RSウイルス感染症		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	204	2.29	54	0.61	82	0.92	558	6.27	6	0.07
賀茂					2	1.00	4	2.00		
熱海	6	1.50	2	0.50			27	6.75		
東部	69	5.31	18	1.38	4	0.31	97	7.46	2	0.15
御殿場	5	1.25	16	4.00	34	8.50	26	6.50		
富士	6	0.67	6	0.67	1	0.11	20	2.22	1	0.11
静岡市	20	1.25	1	0.06	13	0.81	75	4.69		
中部	12	1.09	3	0.27	9	0.82	62	5.64	1	0.09
西部	29	2.42	5	0.42	1	0.08	88	7.33		
浜松市	57	3.17	3	0.17	18	1.00	159	8.83	2	0.11

保健所名	手足口病		伝染性紅斑		突発性発しん		ヘルパンギーナ		流行性耳下腺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	定点当り	罹患数	定点当り
総数	78	0.88	4	0.04	33	0.37	478	5.37	5	0.06
賀茂										
熱海							2	0.50		
東部	2	0.15	1	0.08	4	0.31	87	6.69	2	0.15
御殿場					2	0.50	18	4.50		
富士	1	0.11			8	0.89	67	7.44		
静岡市	13	0.81			4	0.25	101	6.31	1	0.06
中部	18	1.64			6	0.55	54	4.91		
西部	18	1.50	1	0.08	4	0.33	101	8.42		
浜松市	26	1.44	2	0.11	5	0.28	48	2.67	2	0.11

保健所名	インフルエンザ		新型コロナウイルス感染症		麻しん (全数報告)		風しん (全数報告)		指定届出機関 (定点)数	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	週計	累計	週計	累計	小児科	内科
総数	189	1.36	524	3.77	0	0	0	0	89	50
賀茂	16	5.33	9	3.00					2	1
熱海	5	0.83	50	8.33					4	2
東部	4	0.20	72	3.60					13	7
御殿場	6	1.00	80	13.33					4	2
富士	21	1.40	92	6.13					9	6
静岡市	16	0.64	73	2.92					16	9
中部	66	3.88	28	1.65					11	6
西部	11	0.58	58	3.05					12	7
浜松市	44	1.57	62	2.21					18	10

*新型コロナウイルス感染症が令和5年5月8日(第19週)から五類(定点把握対象)に追加されました。

感染症 23 週

保健所名	急性出血性結膜炎		流行性角結膜炎		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎		マイコプラズマ肺炎	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		4	0.18	0		1	0.10	2	0.20
賀茂										
熱海									1	1.00
東部			1	0.25						
御殿場										
富士			1	0.33						
静岡市										
中部										
西部										
浜松市			2	0.67			1	0.50	1	0.50

保健所名	クラミジア肺炎(オウム病は除く)		感染性胃腸炎 (病原体がロタウイルスであるものに限る。)	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	0		0	
賀茂				
熱海				
東部				
御殿場				
富士				
静岡市				
中部				
西部				
浜松市				

指定届出機関 (定点)数	
眼科	基幹
22	10
	1
	1
4	1
3	1
5	2
3	1
4	1
3	2

*賀茂・熱海・御殿場の各保健所管内には眼科定点はありません。

*御殿場保健所管内には基幹定点はありません。

定点把握感染症年齢階級別集計表(届出数)

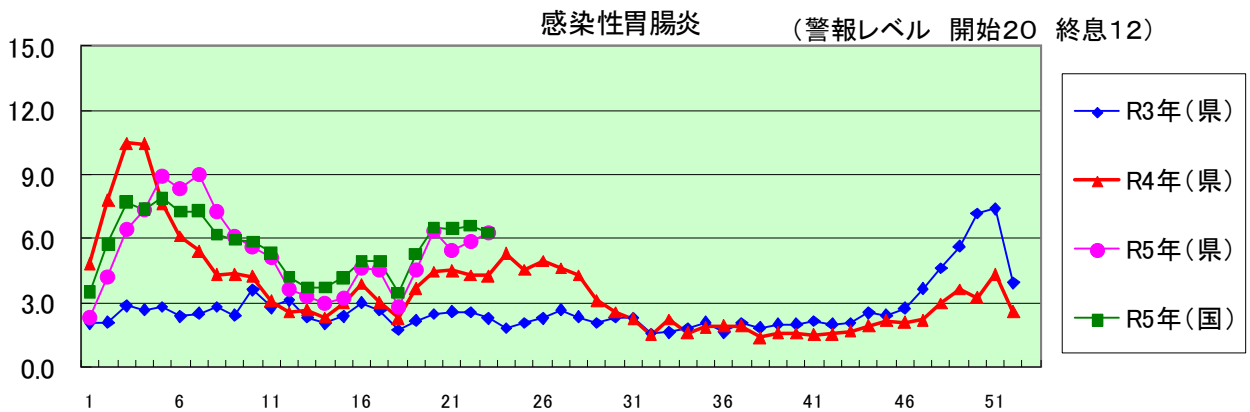
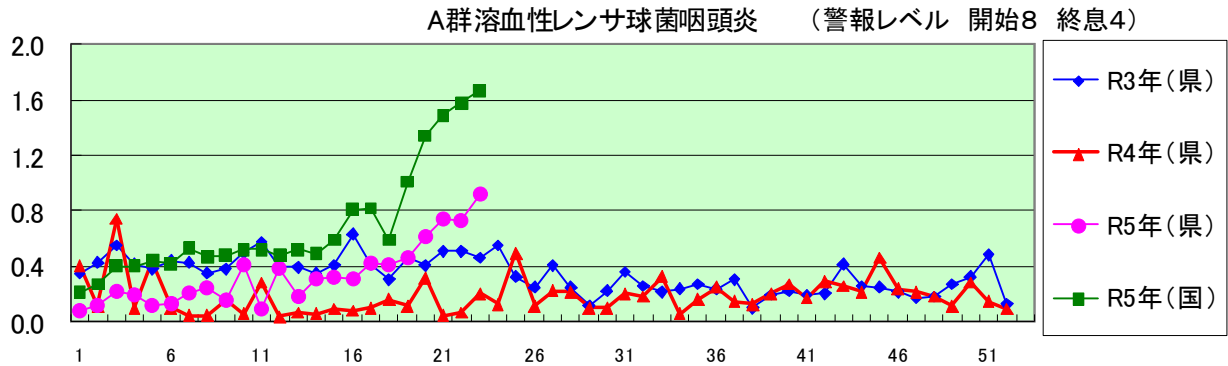
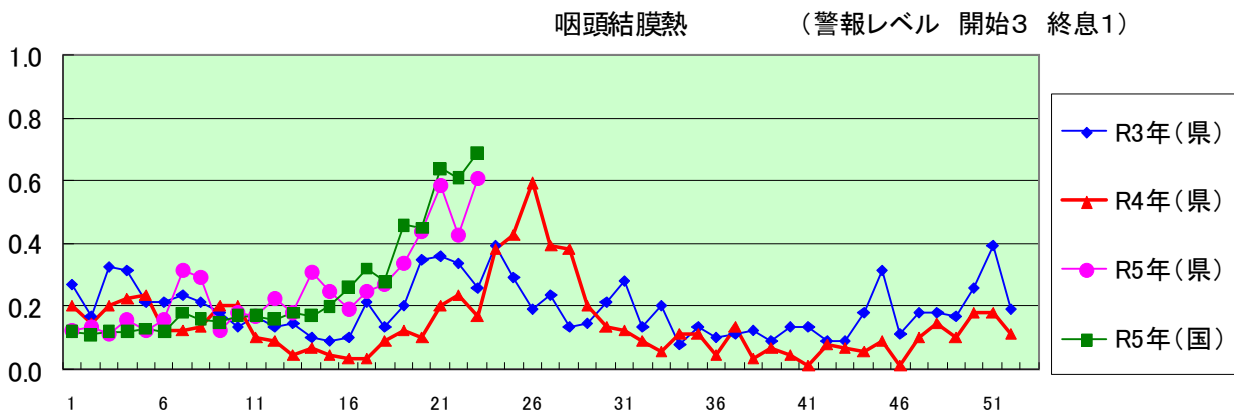
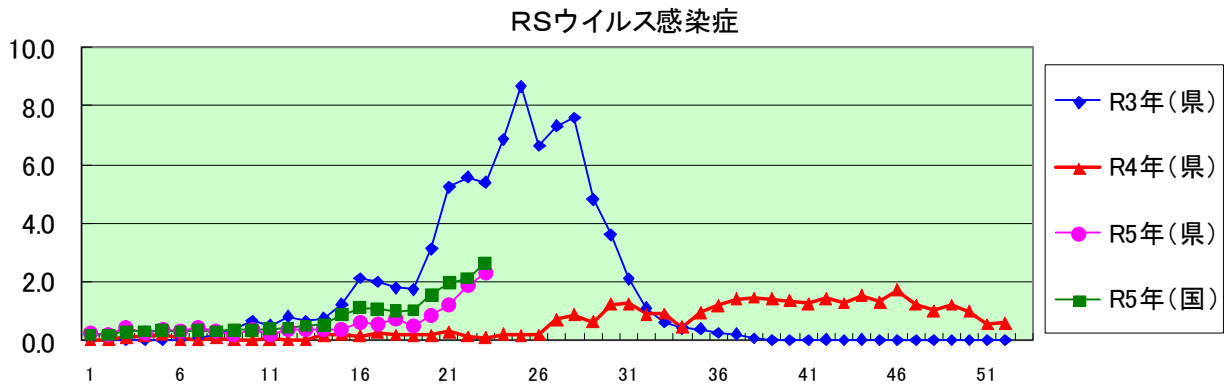
2023年 23 週

年齢階級区分	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	18	23	51	40	35	18	14	1	2			2									204
咽頭結膜熱	1	1	13	12	14	3	6	3		1											54
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			4	4	12	10	12	13	5	5	5	8			4						82
感染性胃腸炎	3	24	67	72	83	78	56	46	24	28	16	46	5	10							558
水痘			1		1		1			1	1	1									6
手足口病	1	4	22	25	8	8	5	2		1	1									1	78
伝染性紅斑				1	1	1	1														4
突発性発しん		7	17	6	1	2															33
ヘルパンギーナ	2	28	96	101	69	72	48	26	15	9	5	5			2						478
流行性耳下腺炎								2		2	1										5
インフルエンザ	1	2	5	5	5	16	15	21	17	10	13	42	4	8	15	6	1	1	1	1	189
新型コロナウイルス感染症	2	7	14	4	8	7	4	8	7	10	12	68	56	51	42	53	49	37	41	44	524
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎															2		1	1			4
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																	1				1
マイコプラズマ肺炎		1				1															2
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					

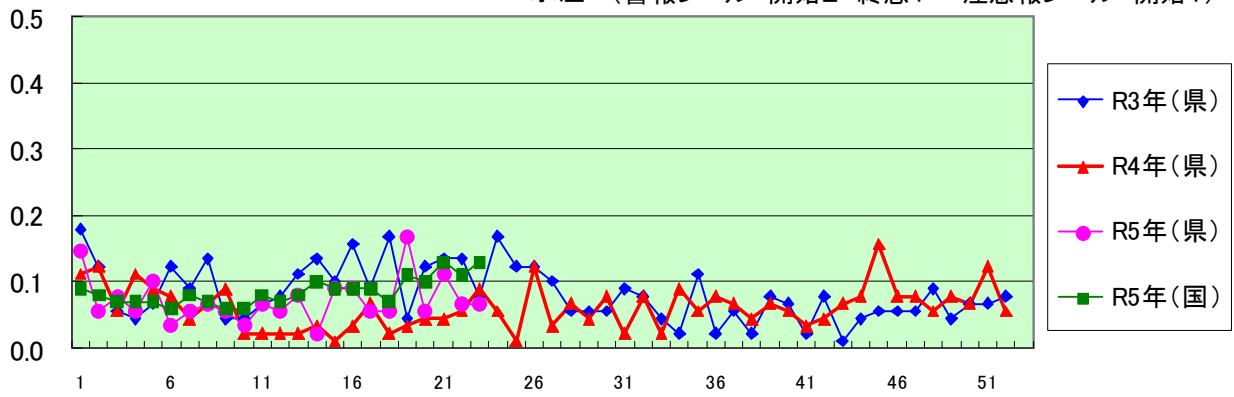
定点把握感染症年齢階級別集計表(定点当り)

2023年 23 週

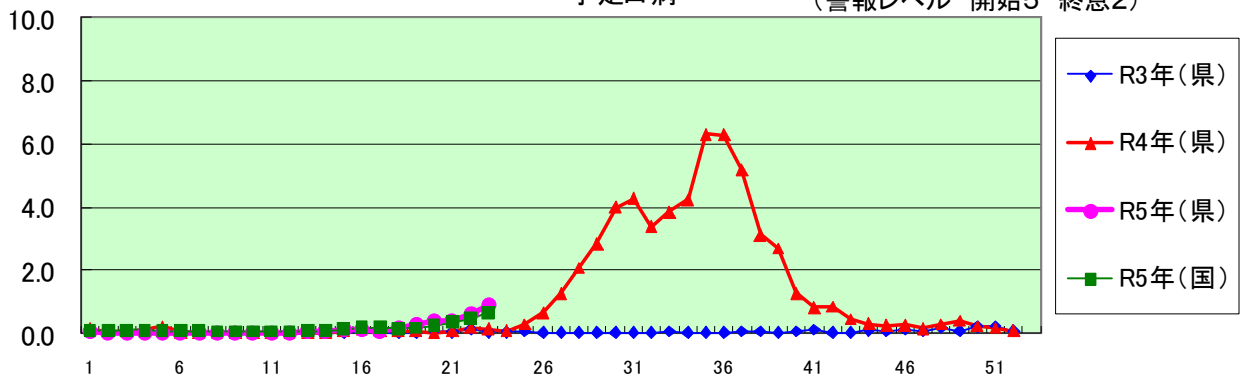
年齢階級区分	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計
〃(小児科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳以上							
〃(眼科定点把握感染症分)	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上		
〃(基幹定点把握分)	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上					
RSウイルス感染症	0.20	0.26	0.58	0.45	0.40	0.20	0.16	0.01	0.02			0.02									2.29
咽頭結膜熱	0.01	0.01	0.15	0.14	0.16	0.03	0.07	0.03		0.01											0.61
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			0.05	0.05	0.14	0.11	0.14	0.15	0.06	0.06	0.06	0.09		0.05							0.92
感染性胃腸炎	0.03	0.27	0.76	0.82	0.94	0.89	0.64	0.52	0.27	0.32	0.18	0.52	0.06	0.11							6.27
水痘			0.01		0.01		0.01			0.01	0.01	0.01									0.07
手足口病	0.01	0.05	0.25	0.28	0.09	0.09	0.06	0.02		0.01	0.01			0.01							0.88
伝染性紅斑				0.01	0.01	0.01	0.01														0.04
突発性発しん		0.08	0.19	0.07	0.01	0.02															0.37
ヘルパンギーナ	0.02	0.32	1.09	1.15	0.78	0.82	0.55	0.30	0.17	0.10	0.06	0.06		0.02							5.37
流行性耳下腺炎								0.02		0.02	0.01										0.06
インフルエンザ	0.01	0.01	0.04	0.04	0.04	0.12	0.11	0.15	0.12	0.07	0.09	0.30	0.03	0.06	0.11	0.04	0.01	0.01	0.01	0.01	1.36
新型コロナウイルス感染症	0.01	0.05	0.10	0.03	0.06	0.05	0.03	0.06	0.05	0.07	0.09	0.49	0.40	0.37	0.30	0.38	0.35	0.27	0.29	0.32	3.77
急性出血性結膜炎																					
流行性角結膜炎															0.09		0.05	0.05			0.18
細菌性髄膜炎																					
無菌性髄膜炎																	0.10				0.10
マイコプラズマ肺炎		0.10				0.10															0.20
クラミジア肺炎(オウム病は除く)																					
感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)																					



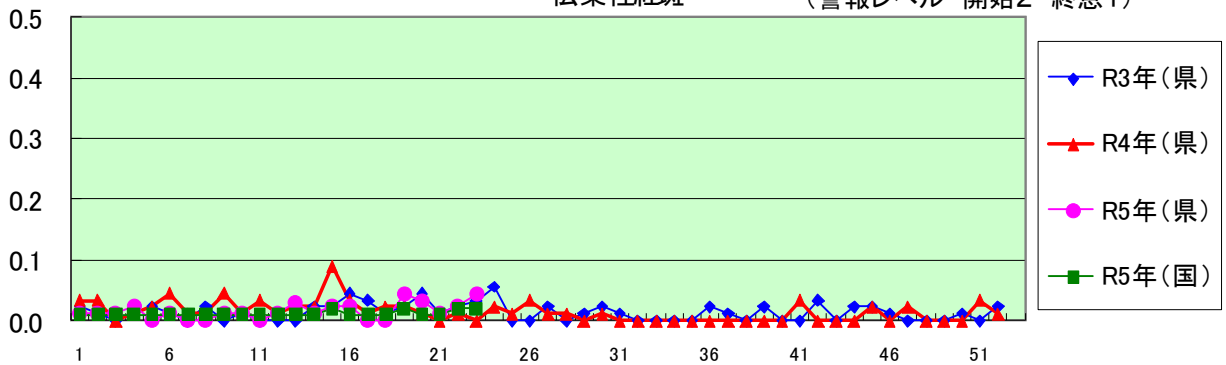
水痘 (警報レベル 開始2 終息1 注意報レベル 開始1)



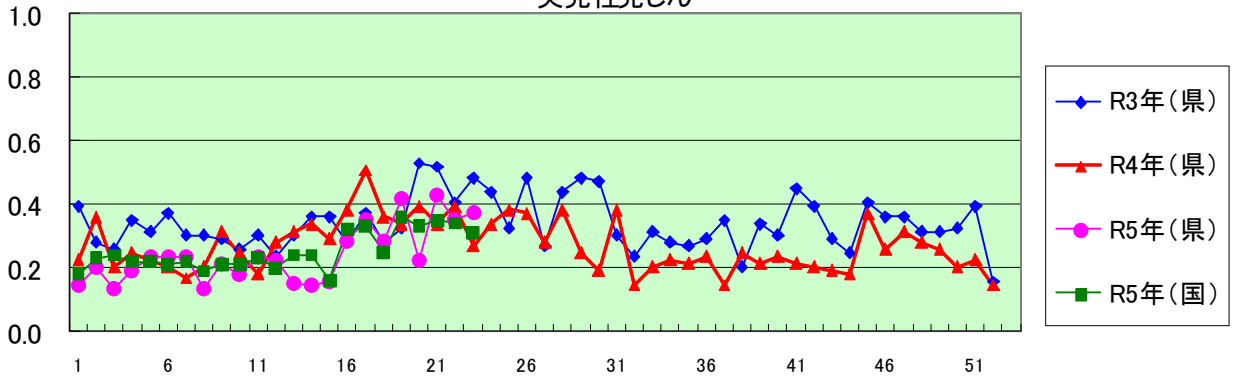
手足口病 (警報レベル 開始5 終息2)

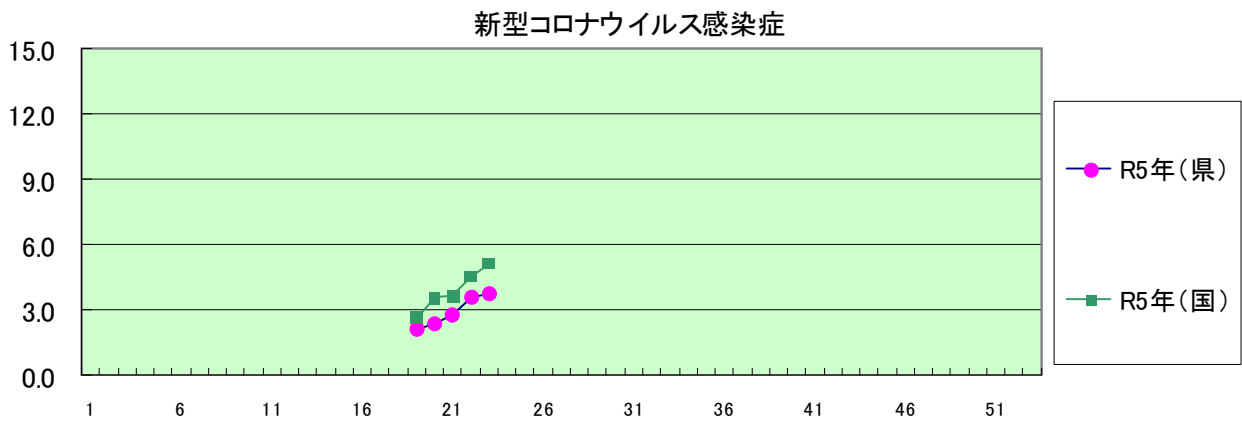
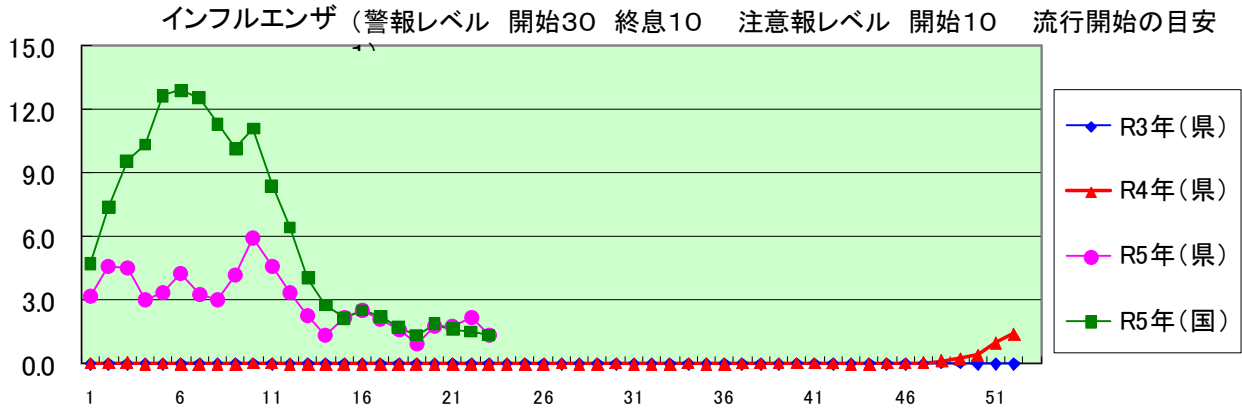
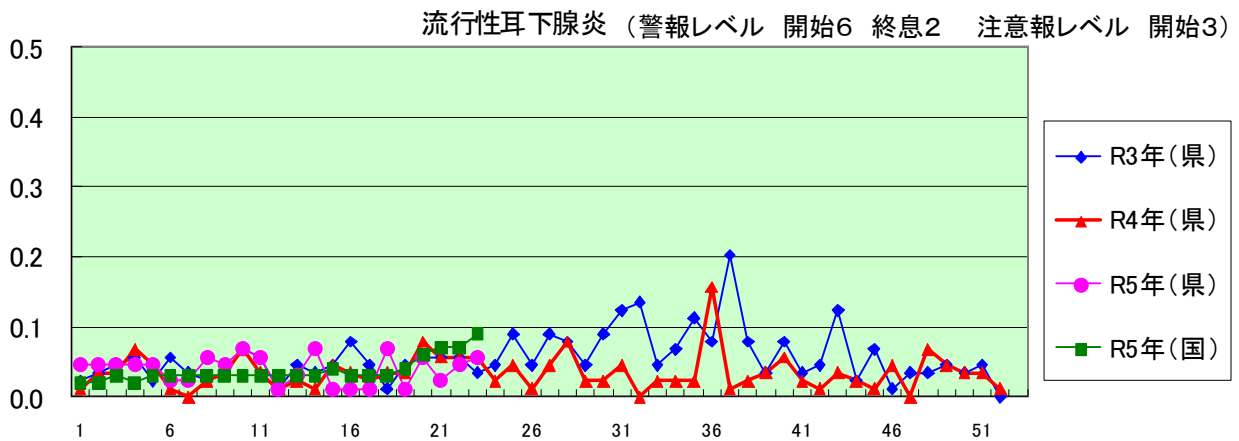
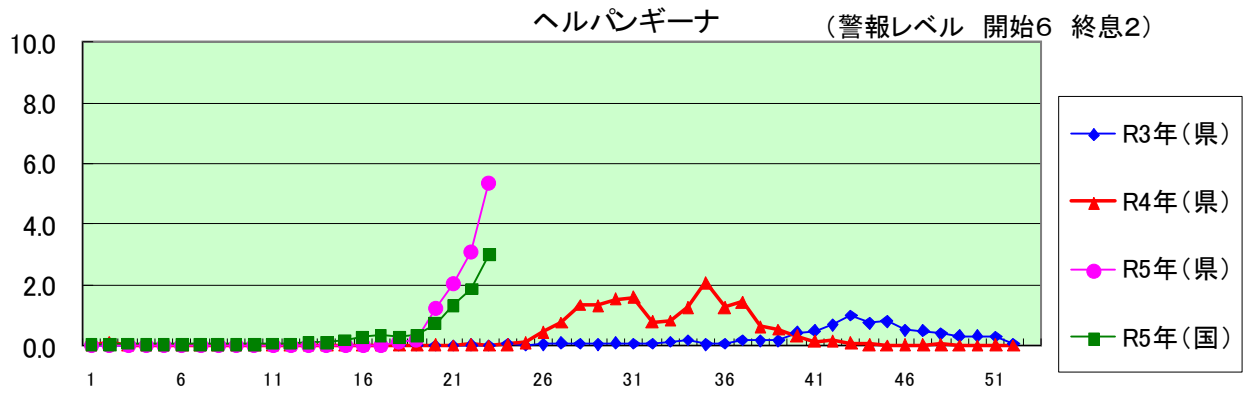


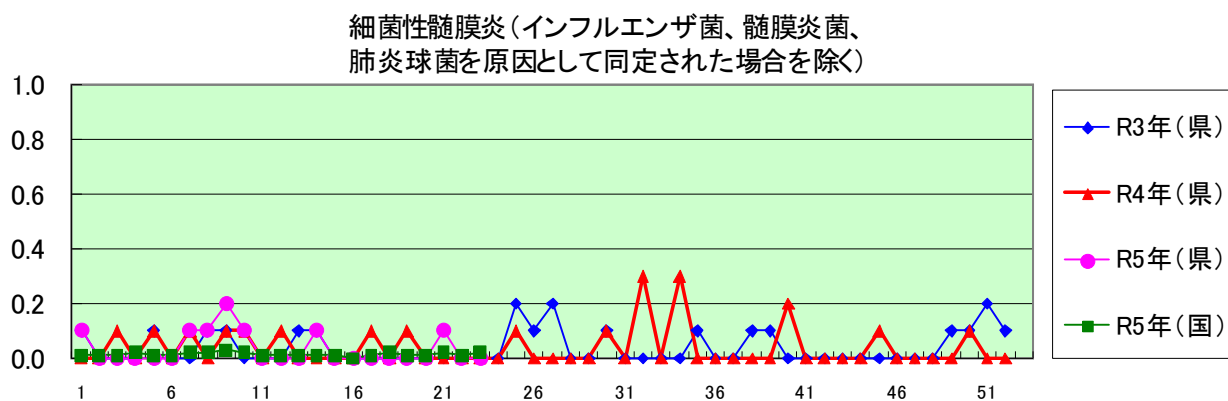
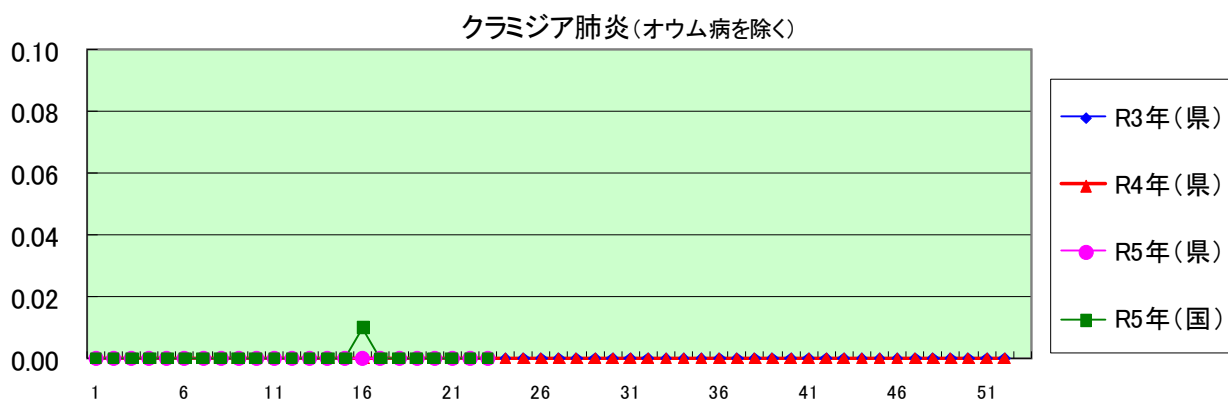
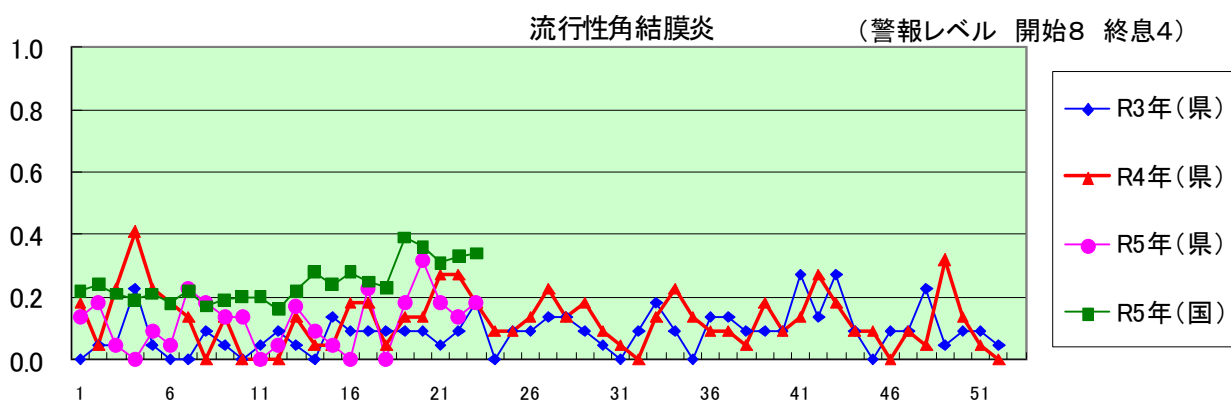
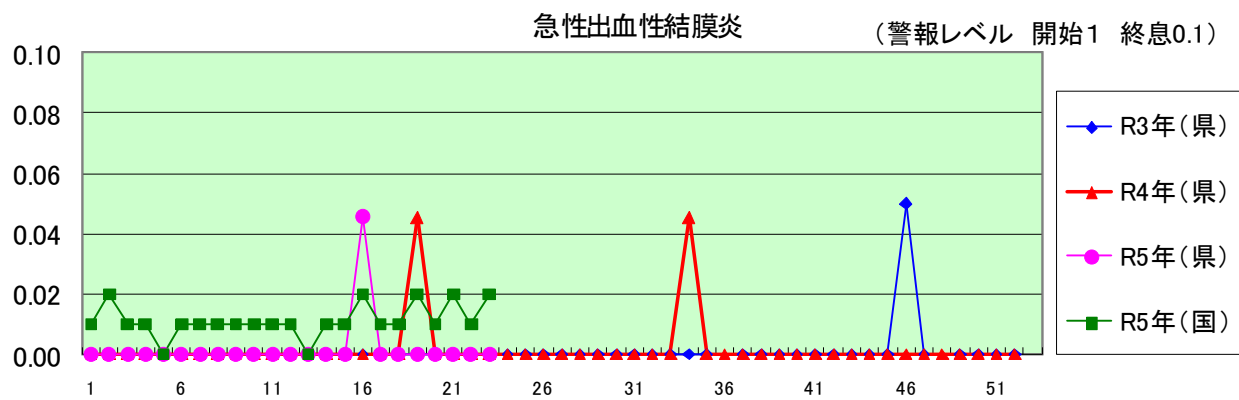
伝染性紅斑 (警報レベル 開始2 終息1)



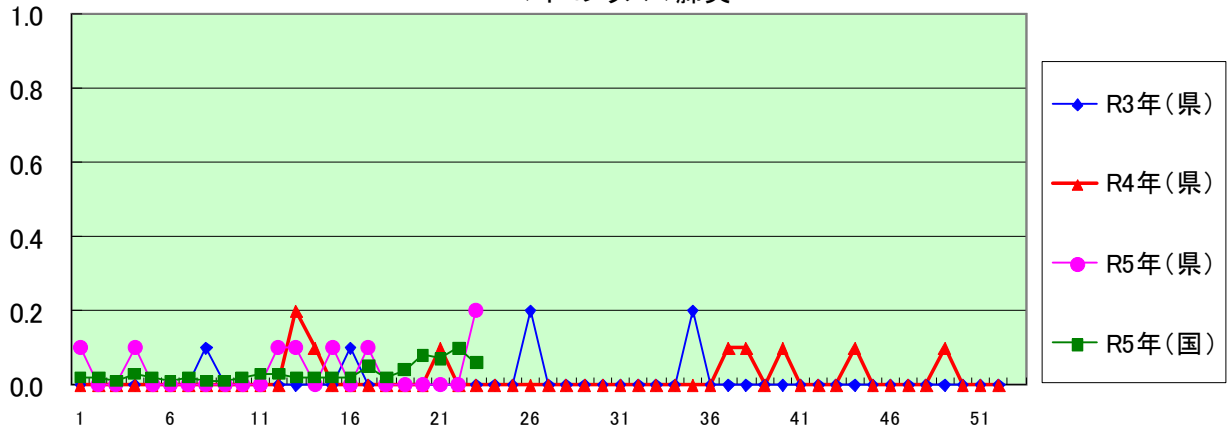
突発性発しん



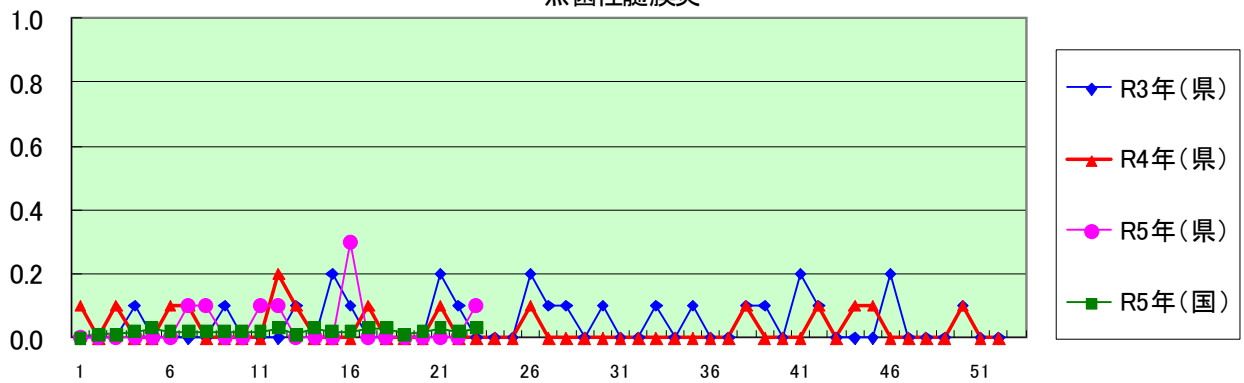




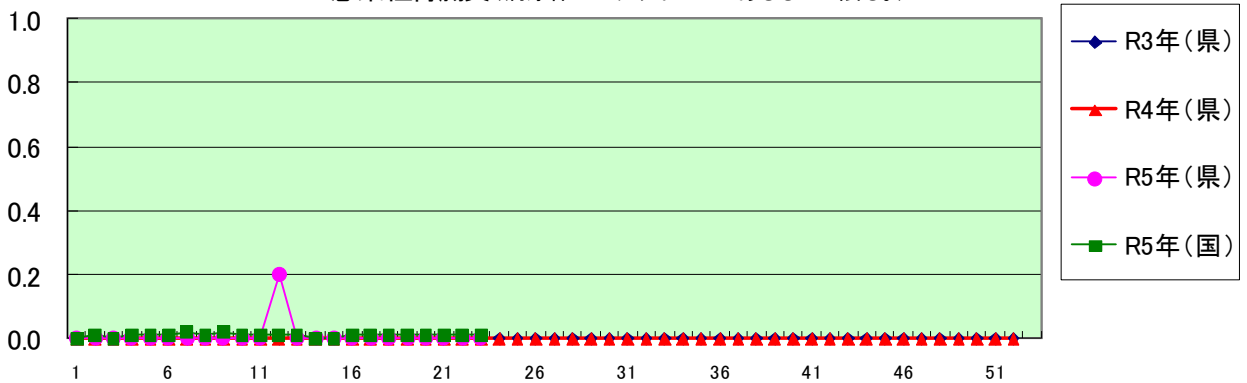
マイコプラズマ肺炎



無菌性髄膜炎



感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
小児科	89	RSウイルス感染症、咽頭結膜熱、A群溶血性レンサ球菌咽頭炎、感染性胃腸炎、水痘、手足口病、伝染性紅斑、突発性発しん、ヘルパンギーナ、流行性耳下腺炎、インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
内科	50	インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症
眼科	22	急性出血性結膜炎、流行性角結膜炎
基幹	10	クラミジア肺炎(オウム病を除く)、細菌性髄膜炎、マイコプラズマ肺炎、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎(病原体がロタウイルスであるものに限る。)

定点把握感染症(月報)集計表(届出数)

2023年 5 月

	静岡県							全国				
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	計	2月	3月	4月	今月	計
性器クラミジア感染症	49	49	47	42	43	44	274	2,380	2,603	2,512	2,708	10,203
性器ヘルペスウイルス感染症	19	11	10	14	18	15	87	670	818	758	798	3,044
尖圭コンジローマ	6	10	12	12	20	12	72	526	577	562	610	2,275
淋菌感染症	11	18	11	20	8	13	81	691	857	773	831	3,152
性器クラミジア感染症(男)	18	16	19	12	13	13	91	1,227	1,330	1,302	1,410	5,269
性器クラミジア感染症(女)	31	33	28	30	30	31	183	1,153	1,273	1,210	1,298	4,934
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	5	4	1	2	7	5	24	249	315	293	317	1,174
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	14	7	9	12	11	10	63	421	503	465	481	1,870
尖圭コンジローマ(男)	3	6	9	1	8	3	30	352	372	379	410	1,513
尖圭コンジローマ(女)	3	4	3	11	12	9	42	174	205	183	200	762
淋菌感染症(男)	6	13	8	12	7	10	56	512	653	585	620	2,370
淋菌感染症(女)	5	5	3	8	1	3	25	179	204	188	211	782
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	10	13	18	18	25	25	109	1,209	1,207	1,012	1,210	4,638
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症								70	61	57	116	304
薬剤耐性緑膿菌感染症								10	8	4	8	30

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖形コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

定点把握感染症(月報)集計表(定点当り)

2023年 5 月

	静岡県						全国			
	12月	1月	2月	3月	4月	今月	2月	3月	4月	今月
性器クラミジア感染症	1.63	1.63	1.57	1.40	1.43	1.47	2.42	2.66	2.57	2.76
性器ヘルペスウイルス感染症	0.63	0.37	0.33	0.47	0.60	0.50	0.68	0.84	0.78	0.81
尖圭コンジローマ	0.20	0.33	0.40	0.40	0.67	0.40	0.54	0.59	0.58	0.62
淋菌感染症	0.37	0.60	0.37	0.67	0.27	0.43	0.70	0.88	0.79	0.85
性器クラミジア感染症(男)	0.60	0.53	0.63	0.40	0.43	0.43	1.25	1.36	1.33	1.44
性器クラミジア感染症(女)	1.03	1.10	0.93	1.00	1.00	1.03	1.17	1.30	1.24	1.32
性器ヘルペスウイルス感染症(男)	0.17	0.13	0.03	0.07	0.23	0.17	0.25	0.32	0.30	0.32
性器ヘルペスウイルス感染症(女)	0.47	0.23	0.30	0.40	0.37	0.33	0.43	0.51	0.48	0.49
尖圭コンジローマ(男)	0.10	0.20	0.30	0.03	0.27	0.10	0.36	0.38	0.39	0.42
尖圭コンジローマ(女)	0.10	0.13	0.10	0.37	0.40	0.30	0.18	0.21	0.19	0.20
淋菌感染症(男)	0.20	0.43	0.27	0.37	0.23	0.33	0.52	0.67	0.60	0.63
淋菌感染症(女)	0.17	0.17	0.10	0.27	0.03	0.10	0.18	0.21	0.19	0.22
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1.00	1.30	1.80	1.80	2.50	2.50	2.53	2.55	2.14	2.54
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症							0.15	0.13	0.12	0.24
薬剤耐性緑膿菌感染症							0.02	0.02	0.01	0.02

定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

2023年 5 月

保健所名	性器クラミジア感染症		性器ヘルペスウイルス感染症		尖圭コンジローマ		淋菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	44	1.47	15	0.50	12	0.40	13	0.43
賀茂								
熱海	4	4.00					1	1.00
東部	2	0.40	1	0.20	1	0.20		
御殿場	4	4.00						
富士	12	4.00	6	2.00			7	2.33
静岡市	11	1.83	5	0.83	6	1.00	3	0.50
中部	5	1.25	3	0.75	2	0.50	2	0.50
西部	5	1.00						
浜松市	1	0.20			3	0.60		

保健所名	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症		ペニシリン耐性肺炎球菌感染症		薬剤耐性緑膿菌感染症	
	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り	罹患数	定点当り
総数	25	2.50	0		0	
賀茂	1	1.00				
熱海	1	1.00				
東部	2	2.00				
御殿場						
富士	1	1.00				
静岡市	12	6.00				
中部	1	1.00				
西部	4	4.00				
浜松市	3	1.50				

保健所名	定点(指定届出機関)数	
	性感染症	基幹
総数	30	10
賀茂		1
熱海	1	1
東部	5	1
御殿場	1	
富士	3	1
静岡市	6	2
中部	4	1
西部	5	1
浜松市	5	2

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(届出数)

2023年 5 月

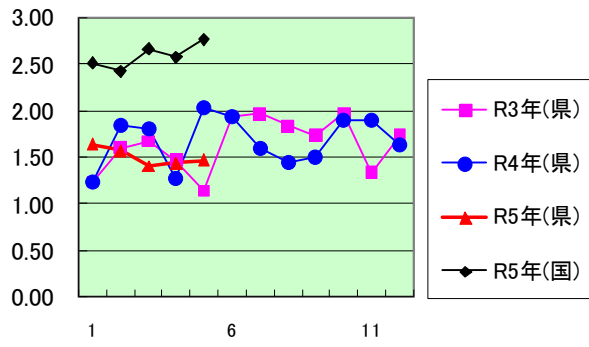
年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					3	15	6	5	6	1	6	1	1				44
性器ヘルペスウイルス感染症					2	2	2	2	1		1	1	3			1	15
尖圭コンジローマ					1	1		4			2	1	2			1	12
淋菌感染症					2	2	1	1	1		3		3				13
性器クラミジア感染症(男)					1	3		2	2		4		1				13
性器クラミジア感染症(女)					2	12	6	3	4	1	2	1					31
性器ヘルペスウイルス感染症(男)					1	1		1					2				5
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					1	1	2	1	1		1	1	1			1	10
尖圭コンジローマ(男)								1			1		1				3
尖圭コンジローマ(女)					1	1		3			1	1	1			1	9
淋菌感染症(男)						1	1	1	1		3		3				10
淋菌感染症(女)					2	1											3
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	1								1		1	2	1	1	1	17	25
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

定点把握感染症(月報)年齢階級別集計表(定点当り)

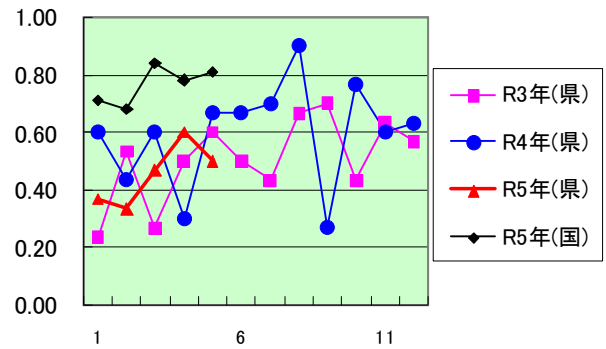
2023年 5 月

年齢階級区分	0歳	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～44歳	45～49歳	50～54歳	55～59歳	60～64歳	65～69歳	70歳以上	計
性器クラミジア感染症					0.10	0.50	0.20	0.17	0.20	0.03	0.20	0.03	0.03				1.47
性器ヘルペスウイルス感染症					0.07	0.07	0.07	0.07	0.03		0.03	0.03	0.10			0.03	0.50
尖圭コンジローマ					0.03	0.03		0.13			0.07	0.03	0.07			0.03	0.40
淋菌感染症					0.07	0.07	0.03	0.03	0.03		0.10		0.10				0.43
性器クラミジア感染症(男)					0.03	0.10		0.07	0.07		0.13		0.03				0.43
性器クラミジア感染症(女)					0.07	0.40	0.20	0.10	0.13	0.03	0.07	0.03					1.03
性器ヘルペスウイルス感染症(男)					0.03	0.03		0.03					0.07				0.17
性器ヘルペスウイルス感染症(女)					0.03	0.03	0.07	0.03	0.03		0.03	0.03	0.03			0.03	0.33
尖圭コンジローマ(男)								0.03			0.03		0.03				0.10
尖圭コンジローマ(女)					0.03	0.03		0.10			0.03	0.03	0.03			0.03	0.30
淋菌感染症(男)						0.03	0.03	0.03	0.03		0.10		0.10				0.33
淋菌感染症(女)					0.07	0.03											0.10
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	0.10								0.10		0.10	0.20	0.10	0.10	0.10	1.70	2.50
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症																	
薬剤耐性緑膿菌感染症																	

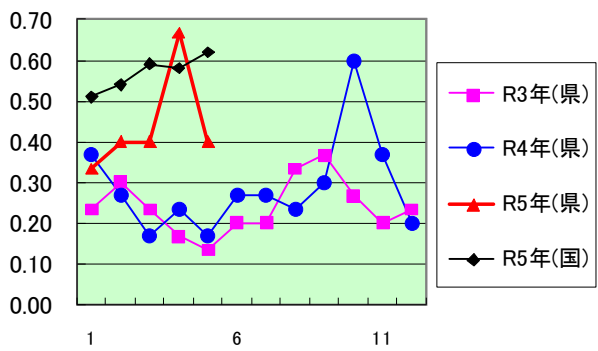
性器クラミジア感染症



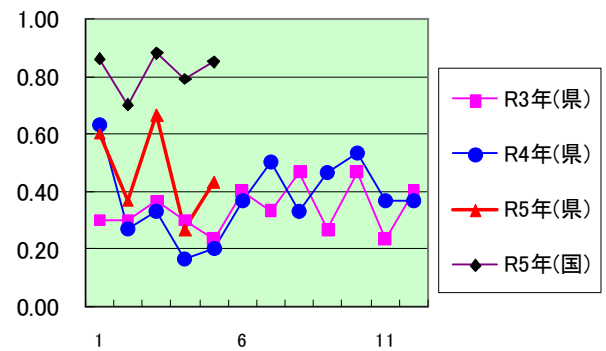
性器ヘルペスウイルス感染症



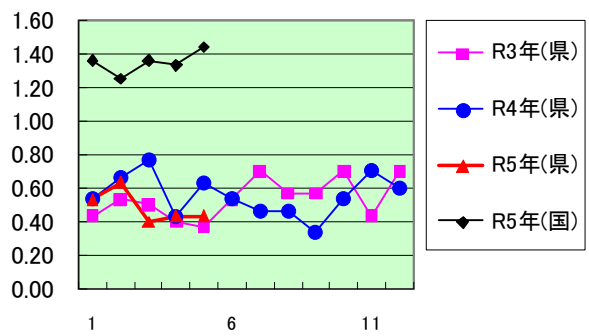
尖圭コンジローマ



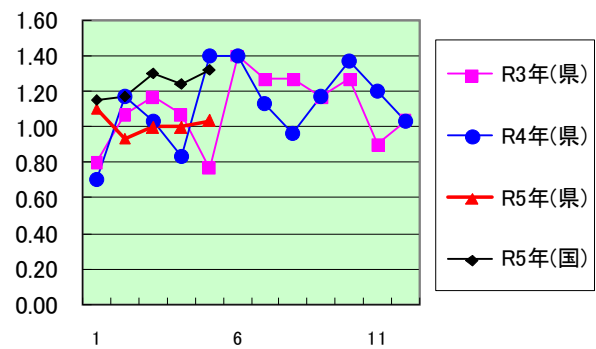
淋菌感染症



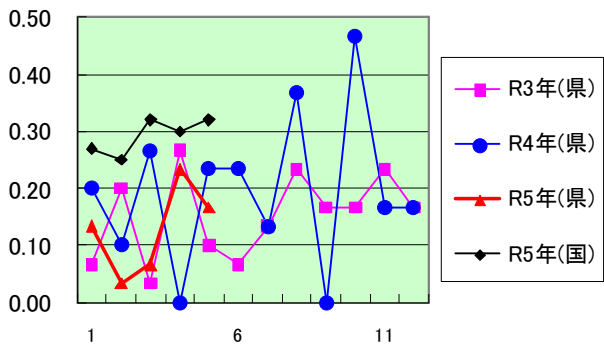
性器クラミジア感染症(男)



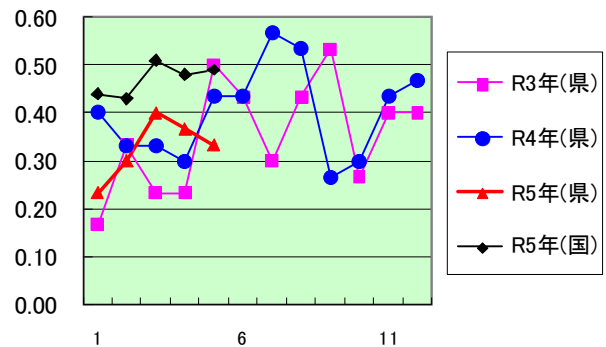
性器クラミジア感染症(女)



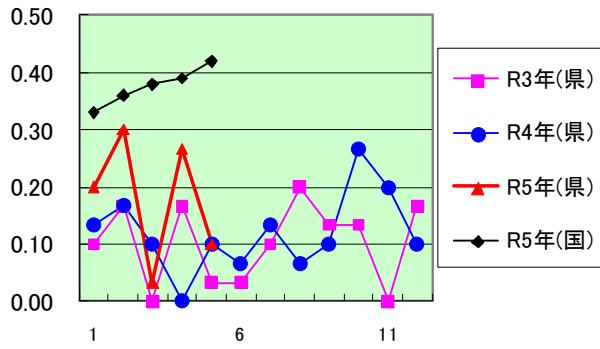
性器ヘルペスウイルス感染症(男)



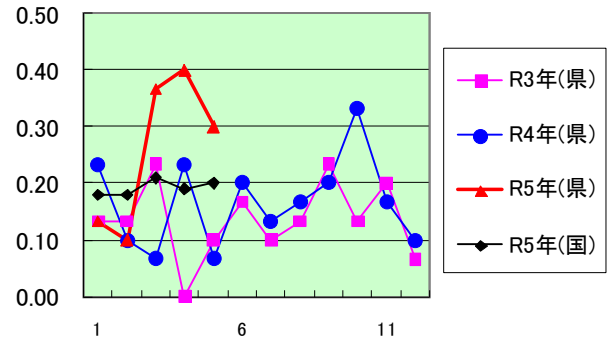
性器ヘルペスウイルス感染症(女)



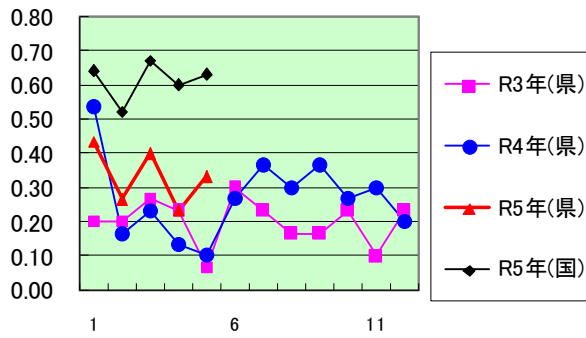
尖圭コンジローマ(男)



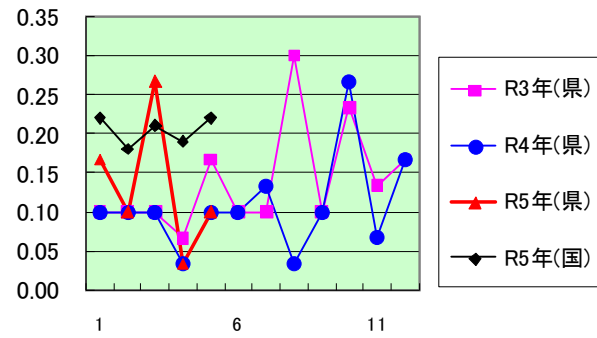
尖圭コンジローマ(女)



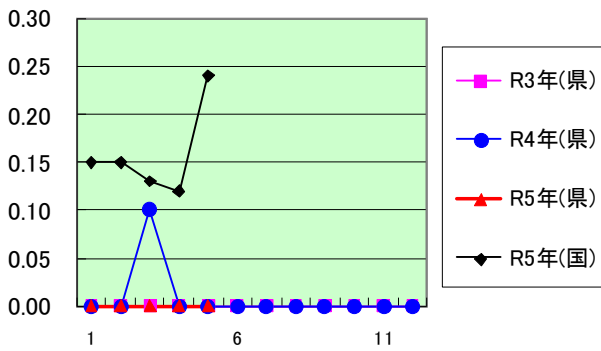
淋菌感染症(男)



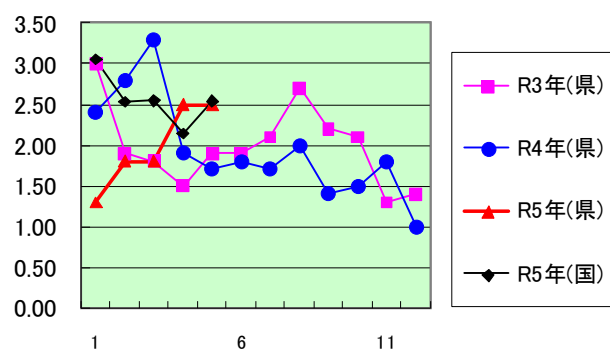
淋菌感染症(女)



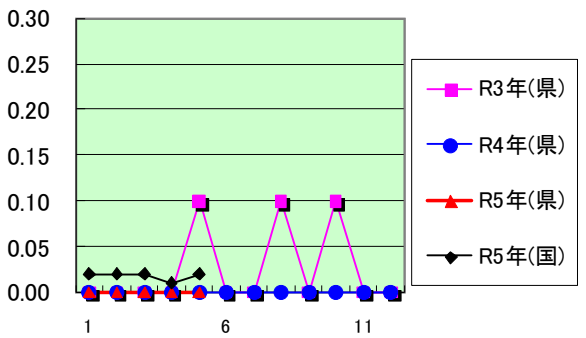
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症



メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症



薬剤耐性緑膿菌感染症



定点種別	県内定点数	届出対象感染症
性感染症	30	性器クラミジア感染症、性器ヘルペスウイルス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症
基幹	10	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、薬剤耐性アシネトバクター感染症、薬剤耐性緑膿菌感染症

提供日 2023/06/08
タイトル インフルエンザの流行が続いています！
担当 健康福祉部 感染症対策局感染症対策課
連絡先 ふじのくに感染症管理センター
TEL 055-928-7272



Shizuoka Prefecture

～危機管理情報～ ～インフルエンザの流行が続いています！～

2023年第22週（5/29～6/4）の感染症発生动向調査で、静岡県内のインフルエンザの定点当たり報告数が**2.22人**に増加し、依然、流行開始の目安とされている1を超えており、流行が続いています。今後、流行が継続することも考えられますので、県民の皆様には、感染拡大防止に努めていただくようお願いいたします。

なお、県内で6月まで流行期が続いたことは、記録が残る2006年以降、初めてです（過去に最も遅くまで、定点当たり1を超えていたのは、2013年第21週（5/20～5/26））。

1.74 ⇒ 1.81 ⇒ **2.22**
(5/15～5/21) (5/22～5/28) (5/29～6/4)

<参考>

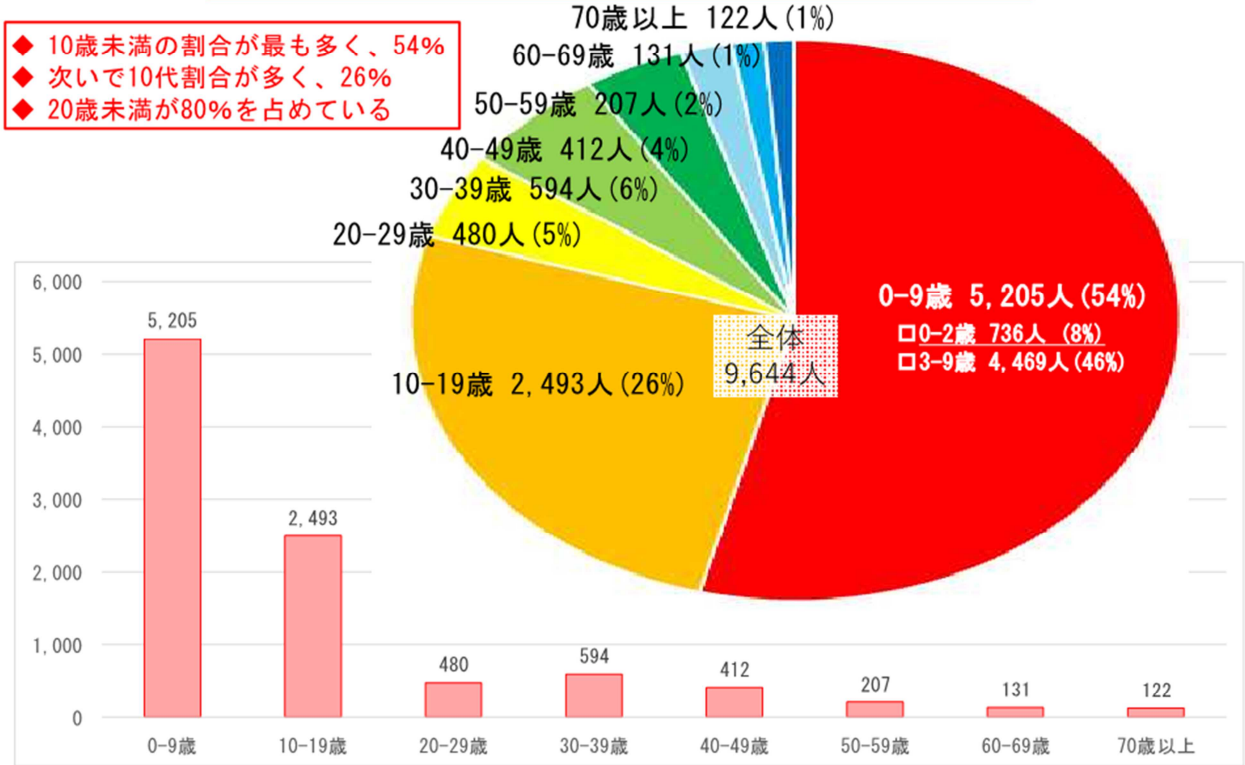
- インフルエンザの定点当たりの報告数とは、県内の小児科、内科併せて139の定点医療機関の1医療機関当たりの1週間の患者数です。
- 流行開始の目安とされている報告数は1、注意報レベルは10、警報レベルの開始は30、警報レベルの終息は10です。
- 今シーズン、初めて定点当たり1を超えて流行入りしたのは、2022年第51週（12/19～12/25）です。
- 全国的に、流行が続いており、県外へ出かける場合にも注意が必要です。
- 10歳未満の感染者が約54%、20歳未満の感染者が約80%を占めており、若年層を中心とした流行となっています。

<注意喚起>

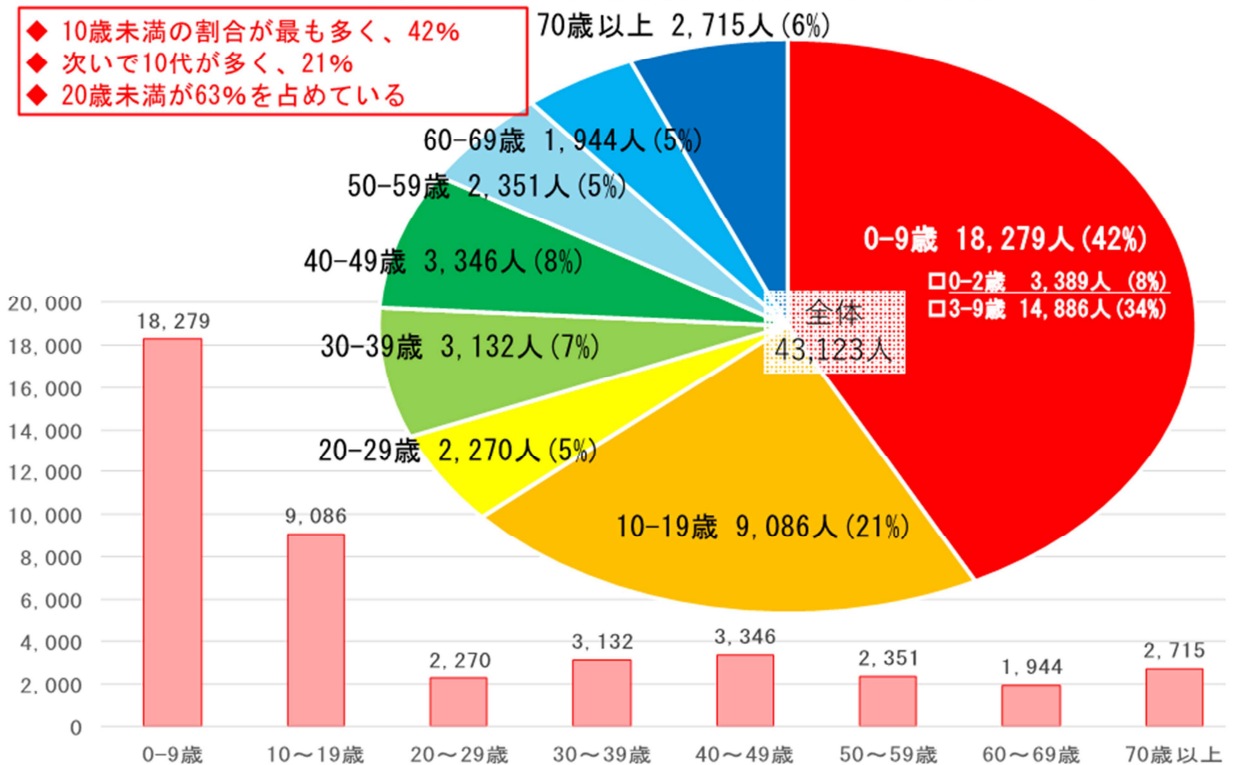
「うつらない」・「うつさない」ための取組の徹底

- なるべく密を避けましょう
- 人が集まる室内では、十分に換気をしましょう
- こまめに手洗いをしましょう
- 体調が悪い場合には、人混みや会話時のマスク着用や咳エチケット（ティッシュや腕の内側などで口と鼻を覆い顔を他の人に向けない）を励行しましょう
- 十分な栄養と睡眠をとり、健康管理につとめましょう
- インフルエンザと診断されたら医師の指示を守って服薬し、外出を控えるとともに、家庭内でも咳エチケットを徹底し、十分な休養をとりましょう

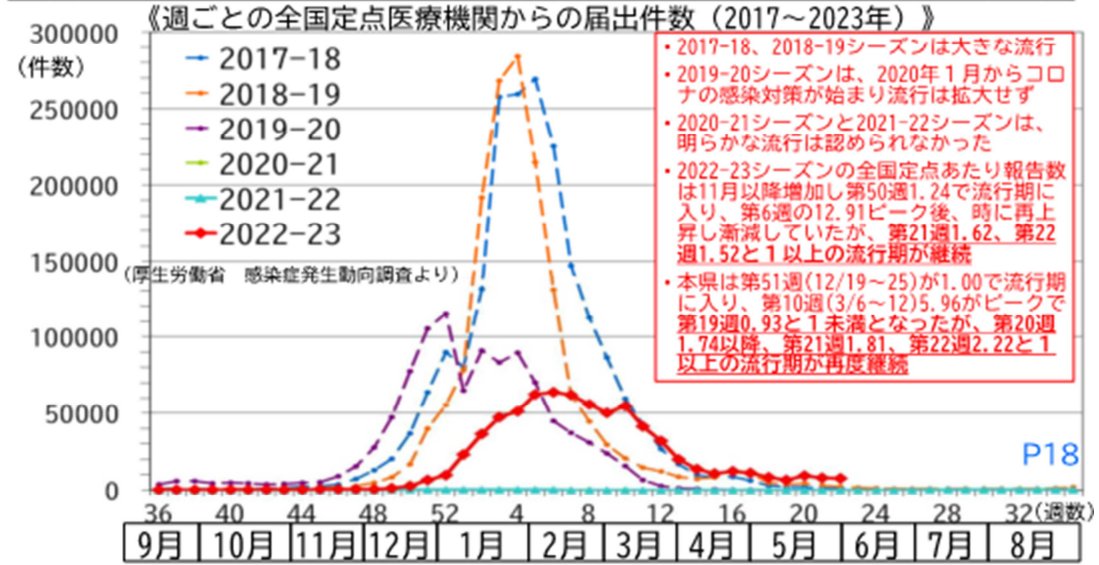
静岡県の今シーズンのインフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 2023年第22週(5/29-6/4)時点 (政令市含む全県)



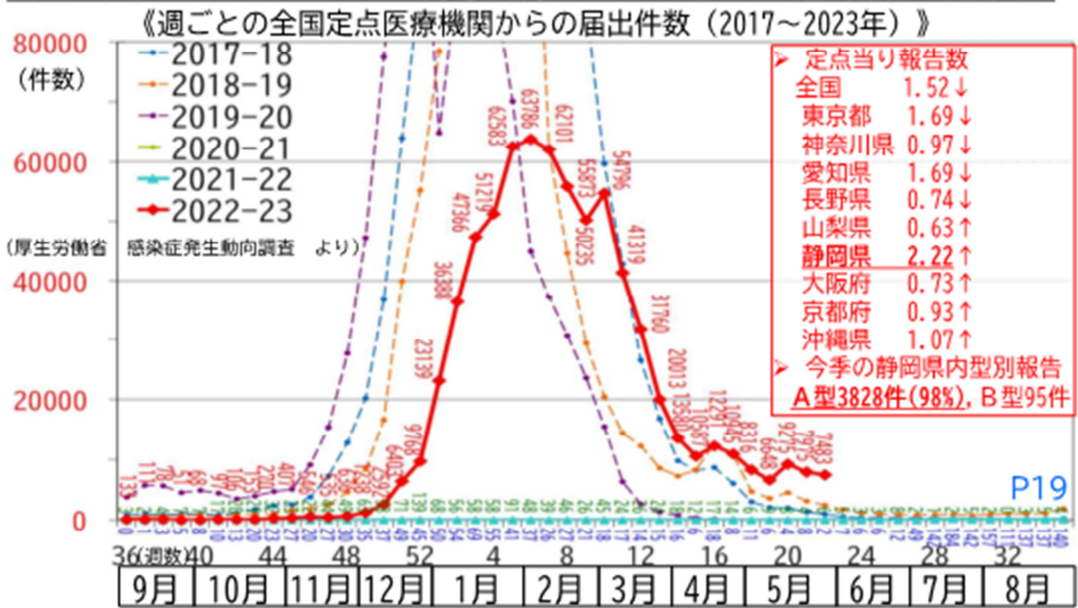
前回、例年並の流行が見られた静岡県の2018-19シーズンの インフルエンザ年齢別の累積報告数・割合 (政令市含む全県)



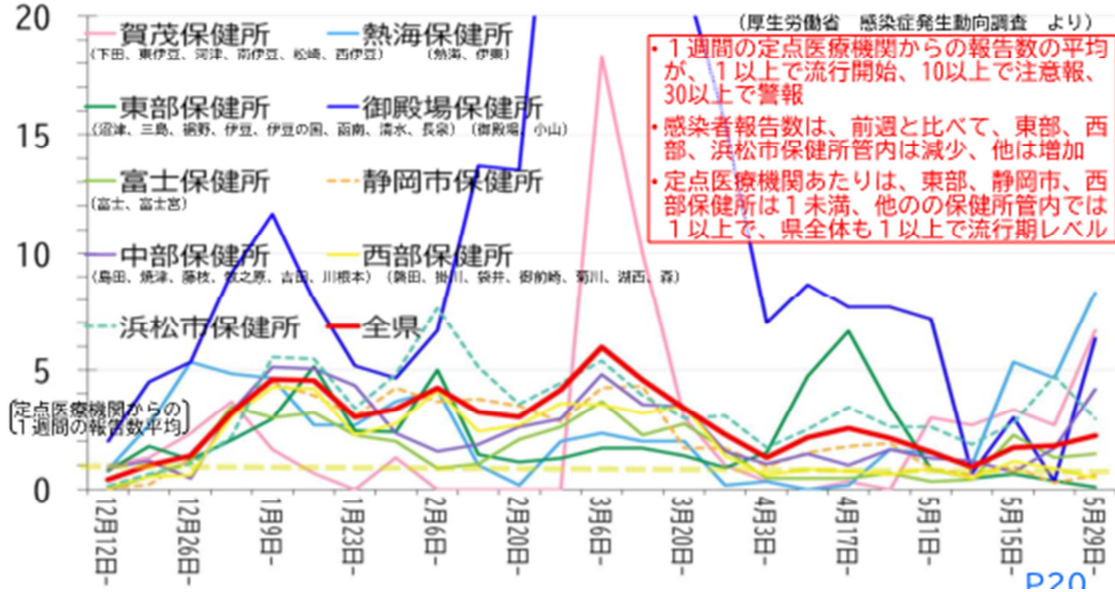
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (5/29~6/4 第22週時点)



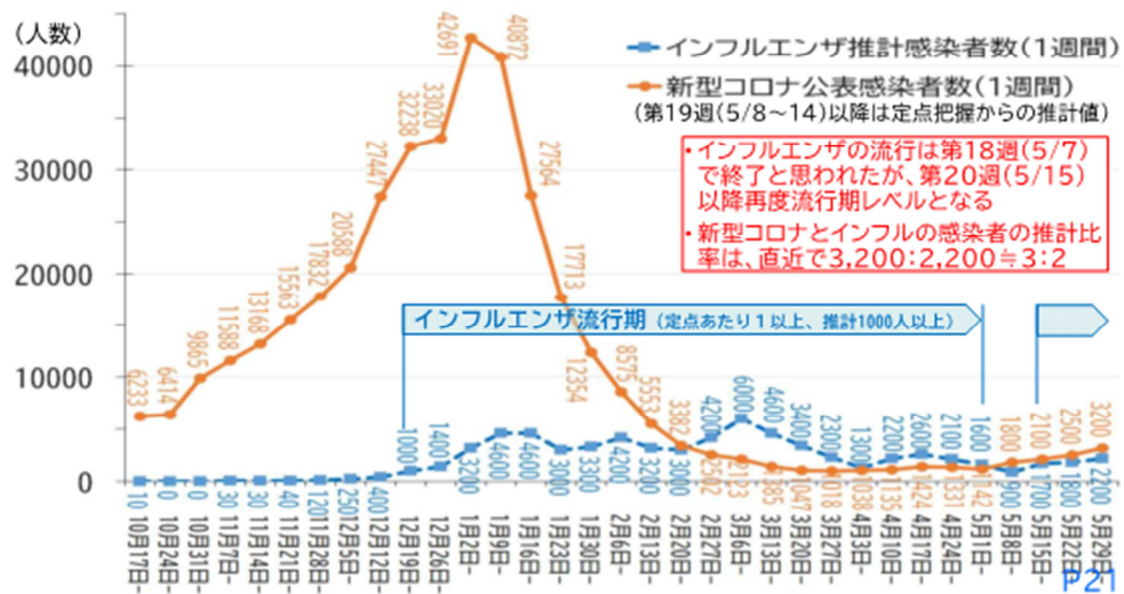
全国 今季のインフルエンザ流行状況 (5/22~28 第21週時点) 【拡大】



静岡県の保健所管内別 1週間のインフルエンザ感染者 定点医療機関からの報告数 (2022.11/7~2023.6/4)



静岡県 新型コロナとインフルエンザの同時流行の状況 (2022.10/17~2023.6/4)



新型コロナウイルス感染症について

令和5年5月8日から、新型コロナウイルス感染症は感染症法上の位置付けが「5類感染症」となりました。

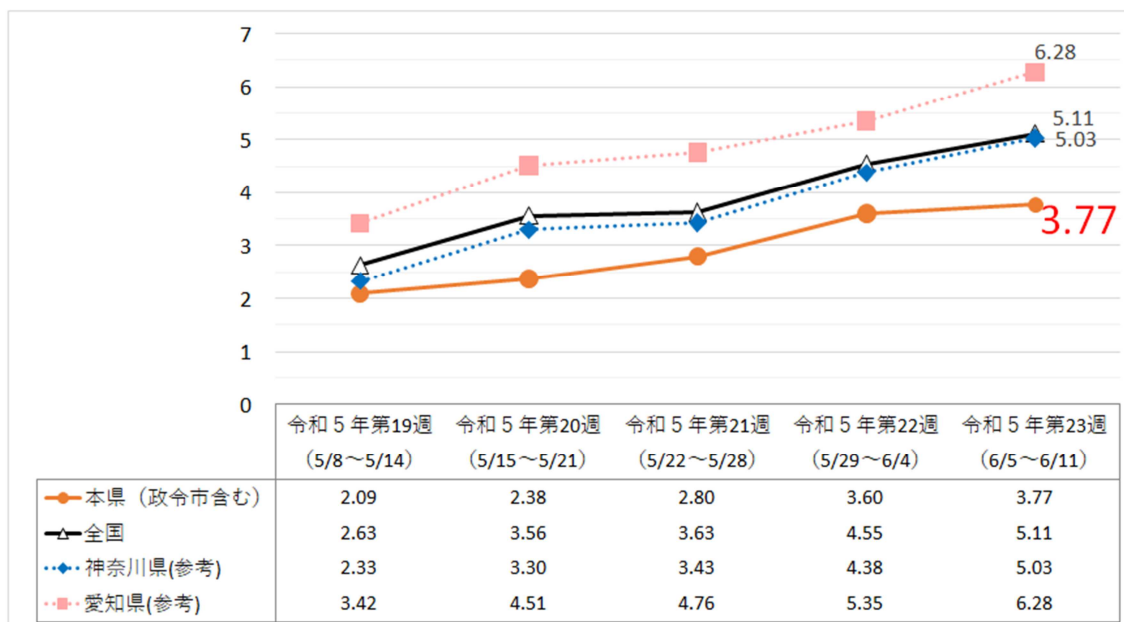
このため、感染状況の把握は、全数を毎日把握する方式ではなく、国が定める基準に従って指定された医療機関（定点医療機関）での患者数を1週間分まとめて把握する方式に変更されています。（季節性インフルエンザと同様の把握方法）

令和5年第23週（令和5年6月5日～6月11日）

★令和5年第23週の感染状況について

- ・県全体の定点医療機関当たり患者数は3.77人/週で、前週(3.60人/週)に比べて増加しています。
- ・この1週間の定点医療機関から報告された感染者数は524人で、前週(500人)に比べて1.05倍です。
- ・この1週間の全感染者数は、約3,300人(1日平均約470人)と推計されます。
- ・現在、警報・注意報レベルの保健所、地域はありません。

1 定点医療機関当たり患者数（単位：人/週）



全国及び隣接する神奈川県、愛知県も表示します。

2 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜令和5年第23週＞

保健所ごとに定点医療機関1か所当たりの人口や年齢構成などが異なるため、保健所間で数値の単純比較はできません。

保健所名	各保健所の 管轄市町名	定点医療 機関数 (A)	定点医療機関 の感染者数 (B)	定点医療機関 当たりの感染者数 (B/A)
賀茂	下田市、東伊豆町、河津町、 南伊豆町、松崎町、西伊豆町	3	9	3.00
熱海	熱海市、伊東市	6	50	8.33
東部	沼津市、三島市、裾野市、 伊豆市、伊豆の国市、函南町、 清水町、長泉町	20	72	3.60
御殿場	御殿場市、小山町	6	80	13.33
富士	富士市、富士宮市	15	92	6.13
県東部地域		50	303	6.06
静岡市	静岡市	25	73	2.92
中部	島田市、焼津市、藤枝市、 牧之原市、吉田町、川根本町	17	28	1.65
県中部地域		42	101	2.40
西部	磐田市、掛川市、袋井市、 御前崎市、菊川市、湖西市、森町	19	58	3.05
浜松市	浜松市	28	62	2.21
県西部地域		47	120	2.55
県全体		139	524	3.77

3 定点医療機関当たり患者数【保健所別】＜5週間の推移＞

保健所名	定点医療 機関数	第19週 (5/8~5/14)	第20週 (5/15~5/21)	第21週 (5/22~5/28)	第22週 (5/29~6/4)	第23週 (6/5~6/11)	前週比推移	県独自の 注意報 レベル※
賀茂	3	1.67	1.00	4.00	4.00	3.00	↘ ↗ → ↘	13以上
熱海	6	2.17	6.00	4.50	8.50	8.33	↗ ↘ ↗ ↘	9以上
東部	20	1.55	2.85	2.80	5.85	3.60	↗ ↘ ↗ ↘	8以上
御殿場	6	6.67	7.83	11.17	9.33	13.33	↗ ↗ ↘ ↗	17以上
富士	15	3.33	2.60	3.93	4.53	6.13	↘ ↗ ↗ ↗	11以上
県東部地域	50	2.78	3.64	4.42	6.08	6.06	↗ ↗ ↗ ↗	10以上
静岡市	25	1.28	1.32	1.88	2.16	2.92	↗ ↗ ↗ ↗	6以上
中部	17	1.82	1.88	1.41	2.12	1.65	↗ ↘ ↗ ↘	8以上
県中部地域	42	1.50	1.55	1.69	2.14	2.40	↗ ↗ ↗ ↗	7以上
西部	19	2.63	1.95	2.63	2.47	3.05	↘ ↗ ↘ ↗	10以上
浜松市	28	1.36	1.68	1.68	2.11	2.21	↗ → ↗ ↗	7以上
県西部地域	47	1.87	1.79	2.06	2.26	2.55	↘ ↗ ↗ ↗	8以上
県全体	139	2.09	2.38	2.80	3.60	3.77	↗ ↗ ↗ ↗	8以上

※県独自の注意報レベル：令和4年10月以降の第8波の新規感染者数の推移から、1週間当たりの新規感染者数が人口10万人当たり200人以上となった水準を、暫定的に県独自の注意報レベルとして保健所ごとに設定しています。（例えば、賀茂保健所の定点医療機関当たり患者数は13以上で、注意報レベルということになります）

4 警報・注意報

現在、警報・注意報レベルの保健所、地域はありません。

5 感染者全数の推計値

保健所名	定点医療機関の感染者数 (A)	管内の定点割合 (B)※1	管内の感染者全数の推計値 (A/B) ※2
賀茂	9	0.335	-
熱海	50	0.268	-
東部	72	0.150	-
御殿場	80	0.505	-
富士	92	0.215	-
県東部地域	303	0.221	1371
静岡市	73	0.109	-
中部	28	0.154	-
県中部地域	101	0.125	808
西部	58	0.166	-
浜松市	62	0.117	-
県西部地域	120	0.134	896
県全体	524	0.158	3316

※1 定点割合

令和4年10月3日から令和5年5月7日までに定点医療機関から報告のあった感染者数を、この期間の全感染者数で割った値。

例えば県全体では、この期間の定点医療機関からの報告数は、全感染者数の15.8% (0.158) でした。

※2 推計値の算出方法

感染者全数の推計値は、定点医療機関の感染者数を定点割合で除して算出しており (A÷B)、県全体の感染者数の全数は、 $524 \div 0.158 = 3316$ 人と推計されます。

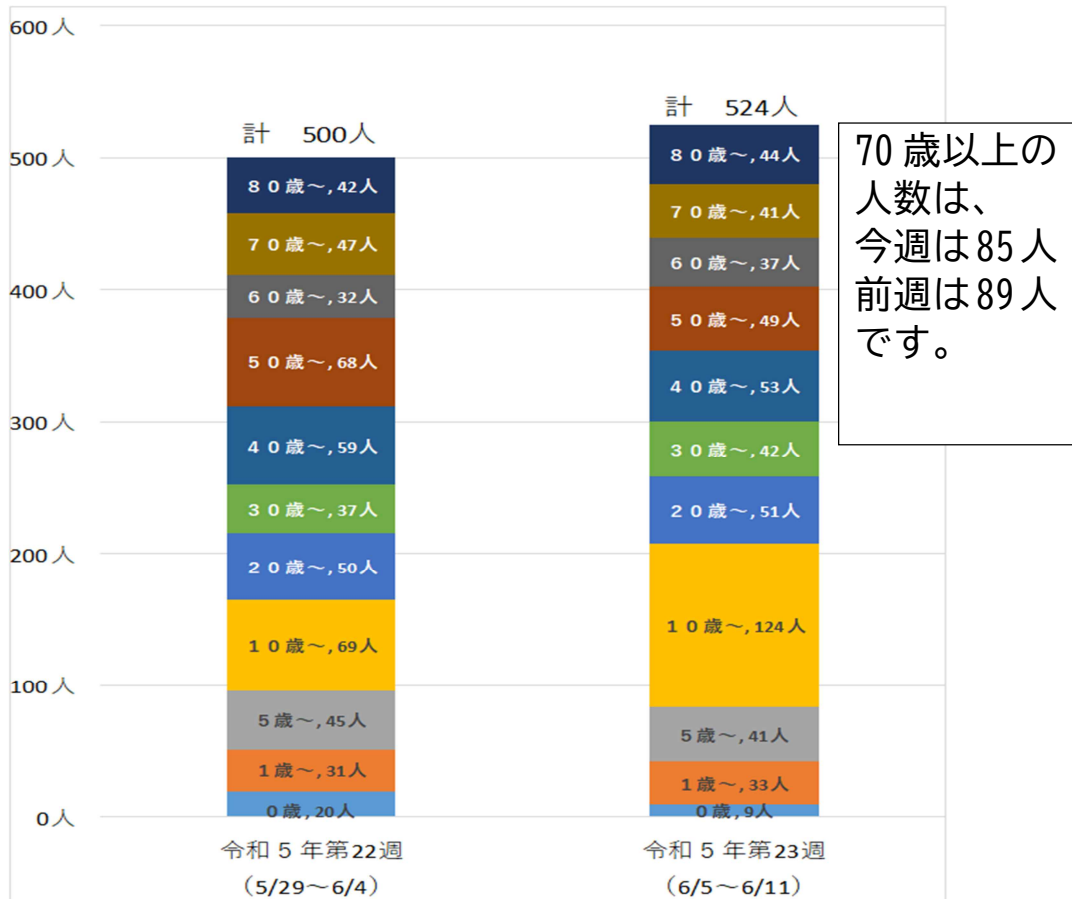
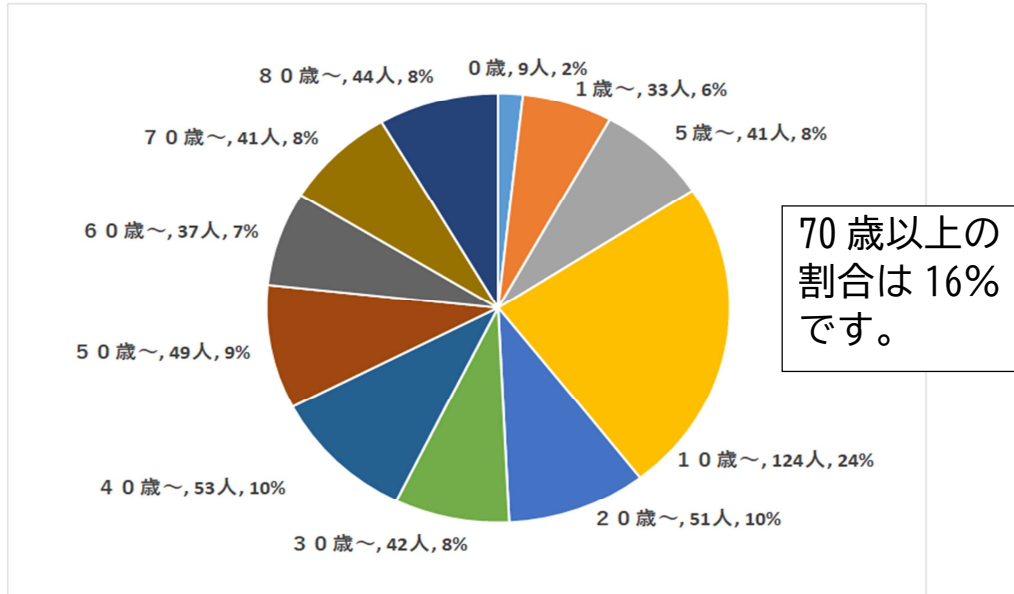
各地域ごとに異なる定点割合で推計値を算出しているため、県東部地域、県中部地域、県西部地域の推計値の総和は必ずしも県全体の推計値と同じ値にはなりません。

なお、人口が少ない地域は定点医療機関が少なく、算出される推計値は統計的に信頼性が低くなるため、各保健所ごとの推計値は示していません。

6 定点医療機関の年齢階級別患者数

0歳	1歳～	5歳～	10歳～	20歳～	30歳～	40歳～	50歳～
9人	33人	41人	124人	51人	42人	53人	49人

60歳～	70歳～	80歳～	不明	合計
37人	41人	44人	0人	524人



7 令和5年5月8日以降（令和5年春開始接種） 高齢者（65歳以上）の3～6回目接種の実績

集計期間	静岡県			(参考)全国
	接種者数	接種者数累計	接種率	接種率
令和5年第19週 (5/8～5/14)	37,927	37,927	3.44%	2.87%
令和5年第20週 (5/15～5/21)	57,406	95,333	8.65%	8.09%
令和5年第21週 (5/22～5/28)	67,915	163,248	14.81%	14.46%
令和5年第22週 (5/29～6/4)	71,329	234,577	21.28%	21.09%
令和5年第23週 (6/5～6/11)	66,299	300,876	27.29%	27.59%

接種対象者のうち、高齢者以外の基礎疾患のある者、医療従事者及び高齢者施設等従事者は、上表には含まれません。

<p>令和5年春開始接種の概要</p> <p>○接種時期 令和5年5月8日開始</p> <p>○接種対象者 2回以上の接種を完了し、以下に該当する者</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者(65歳以上)及び基礎疾患のある者(接種の努力義務あり) ・医療従事者及び高齢者施設等従事者(接種の努力義務なし) <p>○使用ワクチン 以下のいずれかを1回のみ接種可</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オミクロン株対応2価ワクチン(ファイザー社及びモデルナ社) 前回接種から3か月以上経過 ・武田社ワクチン(ノババックス) 前回接種から6か月以上経過
--

変異株に関する項目については、4月3日(月)分から当面の間、2週間ごとに集計しています。
(今回は、5月29日(月)～6月11日(日)分の集計)

8-1 変異株ゲノム解析結果について(政令市除く)

5月中旬～5月下旬に発症した方について、国立遺伝学研究所(三島市)において実施したゲノム解析の結果は、以下のとおりです。(県所管分)

(結果判明日: 5月29日(月)及び6月6日(火))

保健所	賀茂	熱海	東部	御殿場	富士	中部	西部	合計
デルタ株	0	0	0	0	0	0	0	0
オミクロン株	0	0	8	2	0	0	5	15
	(内BA.2)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
	(内BA.5)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)
(内組換え体)	(0)	(0)	(8)	(2)	(0)	(0)	(5)	(15)

8-2 本県の変異株の判明状況（6月11日時点）

		合計	県	静岡市	浜松市
合計 (デルタ株+オミクロン株)	判明者数	9,862	5,590	2,268	2,004
	(前回からの増加数)	(15)	(15)	(0)	(0)
デルタ株 (R3.5.16~)	判明者数	2,411	1,256	648	507
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
オミクロン株 (R4.1.1~)	判明者数	7,451	4,334	1,620	1,497
	(前回からの増加数)	(15)	(15)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.2】	判明者数	1,419	661	430	328
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、BA.5】	判明者数	3,501	2,388	829	284
	(前回からの増加数)	(0)	(0)	(0)	(0)
※オミクロン株 【内、組換体】	判明者数	57	44	11	2
	(前回からの増加数)	(15)	(15)	(0)	(0)

※県：国立遺伝学研究所および国立感染症研究所でゲノム解析を実施

静岡市：国立感染症研究所でゲノム解析を実施

浜松市：浜松市保健環境研究所でゲノム解析を実施

8-3 本県の変異株（オミクロン株）の判明状況（6月11日時点）

	オミクロン株判明数				全オミクロン株に占める割合		
	合計	内、BA.2	内、BA.5	内、組換体	BA.2	BA.5	組換体
3月20日(月)～ 3月26日(日)	13	1	12	0	7.7%	92.3%	0.0%
3月27日(月)～ 4月2日(日)	21	3	17	1	14.3%	81.0%	4.8%
4月3日(月)～ 4月16日(日)	18	1	10	7	5.6%	55.6%	38.9%
4月17日(月)～ 4月30日(日)	7	0	2	5	0.0%	28.6%	71.4%
5月1日(月)～ 5月14日(日)	7	3	0	4	42.9%	0.0%	57.1%
5月15日(月)～ 5月28日(日)	21	1	4	16	4.8%	19.0%	76.2%
5月29日(月)～ 6月11日(日)	15	0	0	15	0.0%	0.0%	100.0%

8-4 ゲノム解析結果の系統別判明数（政令市含む）

（5月29日～6月11日判明分）

系統名※	判明数	割合
BA. 2. 75	0	0. 0%
BS. 1	0	0. 0%
BA. 4. 6	0	0. 0%
BQ. 1	0	0. 0%
XBB	15	100. 0%
その他	0	0. 0%
計	15	100. 0%

※国立感染症研究所「感染・伝播性の増加や抗原性の変化が懸念される新型コロナウイルス（SARS-CoV-2）の変異株について（第22報）」において、「引き続き国内外での動向の注視、知見の収集とともに、国内でのゲノムサーベイランスを継続していく必要がある」とされている系統を掲載しています。